

秘

661303

日米新通商航海條約及議定書談判始末ノ概要

12
13

2-1336

8886

日米新通商航海條約及議定書談判始末ノ概要

日米現行通商航海條約ノ有効期限ニ關シテハ其ノ第十九條ヲ以テ規定セルカ同條第二項中「其ノ後」ナル文字ノ意味明確ヲ缺キ之カ解釋ニ付疑義ナキ克ハサルカ故帝國政府ハ該條約ヲ他ノ諸國トノ條約ト齊シク本年七月ヨリ消滅セシムルノ必要上右第十九條第二項ノ解釋ニ關シ齟齬ナカラシムカ爲既ニ明治四十一年中米國政府ニ交渉ヲ開始シタルカ同國政府ハ文理上ノ解釋ニ據リ日米條約ハ實施ノ日ヨリ十二個年ヲ經過シタル後即チ本年七月十七日以後ニ非サレハ廢棄ノ通告ヲ爲スナ得ス從テ如何ナル場合ニテモ明年七月十七日以前ニ消滅スルユトナシト主張シ帝國政府カ現行條約締結當時ノ事情ヲ指摘シテ該條約ハ實施後何時ニテモ十二ヶ月ノ豫告ヲ以テ終了セシメ得ルモノナリト説明セルモ之ニ同意セス爾來久シク交渉ヲ重不タルカ遂ニ決スルノ見込ナキニ因リ帝國政府ハ寧ロ右期限ノ問題ヲ離レ本年七月十七日ヨリ現行條約ニ代ハリテ實施セラルヘキ新條約ヲ締結スルノ提案ヲ以テ米國政府ノ考量ヲ求メタルニ同國政府ハ熟慮ノ結果若シ帝國政府ヨリ其ノ提出セムト欲スル新條約案ノ内示ヲ得之ヲ查閱シタル上長日ノ討議ヲ要セシムテ米國政府ノ同意シ得ヘキモノタルコトヲ認ムルニ於テハ談判開始ノ問題ヲ考量スヘキ旨昨年五月二十六日ヲ以テ回答セリ

2-1336

8887

661310

前テ帝國政府ハ時機ヲ見計ラヒ昨年十月十九日内田大使チシテ我通商航海條約案及關稅條約案ヲ米國政府ニ内示セシム。其ノ考量ヲ求メタルニ本年一月二十三日ニ至り談判開始ニ異議ナキ旨公然ノ回答アリ。一月八日對案ヲ提出シ來リ彼我商議ノ後二月二十一日新條約及議定書ヲ成ル。此件は併せて新條約及議定書ヲ成ル。

調印ヲ了セリ。

今回ノ談判上問題トナリタル主ナル點ニ付之ヲ叙述スレハ左ノ如シ

一、移民條項ノ削除

現行日米條約第二條末項「但本條及前條ノ規定ハ兩締盟國ノ各方ニ於テ商業勞働者ノ移住警察及公安ニ關シ現ニ行ハレ文ハ將來制定セラルヘキ法律、勅令及規則ニハ何等ノ影響ヲ及ぼスコトナシ」トノ規定中「勞働者ノ移住」及「又ハ將來制定セラルヘキ」ノ文字ノ挿入セラレ取法律、勅令及規則ニ對シ「外國人一般ニ適用スヘキ」トノ條件ノ附隨セサリシハ當時帝國政府ノ提案ニ對スル米國政府ノ修正意見ヲ參酌シテ相互妥協ヲ圖リタル結果ニ外ナラズ布ク結果現行條約第一條第一項ニ於テ規定セル入國居住等ノ自由ハ第二條末項ノ爲少カラズ制限セラレ殊ニ他ノ一般外國人ニ加ヘサル特殊ノ制限ヲモ相互ニ設ケ得ル理ニシテ條約ノ明文ハ固ヨリ片務的ニ非スト雖實際ニ痛痒ヲ感スルハ獨リ我國人ニ止マリ米國人ハ何等現實ノ不利益ヲ蒙ルノ虞ナキ有様トナレリ但シ當時ニ在リテハ移民問題カ未ダ近年ノ如キ發展ヲ見

ス且米國政府カ英佛獨諸國ト異リ關稅自主權ヲ全然帝國政府ニ認容シ而シテ帝國政府ニ於テハ迅速ニ條約ノ締結ヲ切望メル吃緊ノ理由ヲ有セシナ以テ前記ノ修正ヲ承諾シタルキノナセ茲ニ於テカ帝國政府ハ日米條約改訂ノ機ヲ待テ所謂移民條項ヲ撤廢スルヲ以テ夙ニ其ノ決意ト爲スト同時ニ之ヲ米國ノ實情ニ顧ミルニ到底多數ノ我移民ヲ同國ニ渡航セシムルノイ得策ナラサルヲ認メ一昨年第二十五議會ニ於テ移民ニ關スル一般ノ方針ヲ説述スルニ當リ米國行及加奈陀行移民ノ制限ハ從來ノ通誠實ニ厲行スヘキ旨右一般方針ト共ニ之ヲ宣明シ以テ内外ヲシテ我方針ノ存スル所ヲ知ラシメ廳ヲ來ルヘキ日米通商條約ノ改訂ニ於テ難關タルヘキ本問題ニ豫メ備フル所アリタリ

畢竟帝國政府ハ米國行移民ノ制限ニ關シテ過去三年間實行シ來レル方針ヲ將來モ猶守持シテ渝ルユトナク日米兩國久遠ノ交誼ニ顧ミ彼我ノ間苟モ紛爭ノ因トナルノ虞アル事由ヲ防止スルニ努ムルト同時ニ苟モ邦人ノ權利自由ニ關シ一般外國人ヨリモ劣等ノ待遇ヲ受クル事ヲ

三

661311

ルヘギヲ甘諾シテ毫毛異議ナ唱ヘ得サルカ如キ條約上ノ規定ヲ再ヒ設クルヨトハ獨り體面上ノミナラス重大ナル利害關係ニ照ラシ到底同意スル能ハサル所ト認メタリ日米現行條約ヲ改訂セムト欲スルノ理由ハ他ニモ猶存スト雖第一條末項ノ撤去カ其ノ主ナルモノニ屬ズル所以實ニ茲ニ存ス

要スルニ現行條約第二條末項ヲ再ヒ新條約ニ挿入スルコトハ帝國政府ノ到底承諾スル能ハサ所ナルカ米國政府モ亦本件ニ重テ措キテ新條約談判上他ノ問題ヨリモ第一ニ此ノ問題ニ付我態度ヲ知ラムト欲スルコト勿論ナルヘケレハ帝國政府ハ始ヨリ明確ニ其ノ意思ヲ宣明スルノ得策ナルヲ認メ新條約案内示す^ノ同時ニ一ノ覺書ヲ提出シ合衆國行勞働者ノ制限ニ關シ帝國政府カ兩國間ニ紛議ヲ生セサラシムカ爲從來任意ニ實行シ來リタル措置ノ成績満足ナルコトヲ指摘シ事態ノ必要トスル限り將來モ之ヲ繼續スルノ覺悟ナル旨ヲ開陳スルト共ニ帝國政府ハ現行條約第二條但書ノ規定ノ不必要ニシテ之カ存續ハ却テ誤解ノ因トナリ易キノミナラス殊ニ國民ノ自負心ニ顧ミ到底同意スルコト能ハサル旨明瞭ニ告白シ猶米國ノ立場ヲモ諒シ高樹モ^{アーヴィング}テ其ノ希望トアラハ新條約ヲ何時ニテモ六個月ノ豫告ニテ廢棄シ得ルコトト爲シ將來萬一ノ難局ニ處スルノ自由ヲ存スルコトニ異議ナキ旨說述セリ蓋シ短期豫告ヲ以テ締約國ノ各一方^ノ新條約ヲ廢棄シ得ルノ規定ヲ設ケ置クトキハ他日萬一米國政府カ移民問題ノ爲ニ甚シキ

困難ヲ感シタル場合ニハ右ノ規定ヲ利用シテ六個月内ニ條約ノ羈絆ヨリ脱却シ得ルノ途アルカ故此辦法ノ存在ニ因リ假令移民條項ヲ削除スルトモ米國政府ハ國內ノ反對論ニ對シテ辯解ノ辭アルヘク又元老院ニ對シ批准ノ協賛ヲ求ムルニ當リ説明ノ便モアルヘキニ付帝國政府ハ右ノ辦法ヲ提供シテ以テ本件ノ解決ヲ期圖シタルモノナリ然ルニ米國大統領及國務卿等三於チハ我提案ニ格別ノ異存ナキモ元老院ヲシテ新條約ノ批准ニ協賛セシムルノ見込ナキトキハ折角談判ヲ行フモ或ハ無益ニ終ルヘキカ故同國政府ハ先同院議員ノ意図ニ付内々見當ヲ付クルノ必要アリ之カ爲長時日ヲ費シタルカ議員中ニハ猶異論者アルヲ以テ米國政府ハ其ノ反對ヲ豫防シ且輿論ヲ満足セシムカ爲移民問題ニ關シ新條約中ニ何等カ規定^{スルノ已}ナチ得サルヲ主張シタルカ帝國政府ハ其ノ到底同意シ難キ所以ヲ辯シ結局條約調印ノ際帝國政府自ラ^ノ移民制限ニ關スル將來ノ方針ヲ繼續スルノ覺悟ナルコトヲ宣言スルコトニ協議ヲ纏メ米國政府ハ布雷書^{スル}ニ據リテ自己ノ立場ヲ辯明スルコトニ決セリ而シテ帝國政府カ右ノ如キ宣言ヲ爲シ全ノ立場中ニ該府ハ布雷書^{スル}ニ據リテ自己ノ立場ヲ辯明スルコトニ決セリ而シテ帝國政府カ右ノ如キ宣言ヲ爲スニ同意シタルハ畢竟新條約締結上先方ノ立場ヲモ顧ミタルモノニシテ且帝國政府ハ其ノ三年以前ヨリ合衆國行移民ニ關シテ實行シ來リタル方針ヲ今後自ラ變更スルノ意思毫モ之ナキカ故其ノ旨聲明スルヲ辭セサリシナリ

移民問題ニ關スル妥協ノ見込立ツニ及ヒテ米國政府ハ新條約談判開始ニ異議ナキ旨正式

五

009

2-1336

661312

三回答シ來リ移民ニ關スル宣言ノ文案定マルヤ二月八日條約對秦ヲ提出セリ

二、關稅問題

關稅問題ニ關シテハ米國政府ハ左ノ修正意見ヲ提出セリ
關稅ニ關スル特別取極ノ締結セラルニ至ル迄ハ日本國政府ハ關稅ニ付別國ニ許與スルコトアルヘキ所ト實際上同一ナル好遇ヲ合衆國ニ許與スヘキコトヲ保障シ若シ日本國政府ニ於テ特別條約又ハ關稅率ノ改正ニ因リ別國ニ對シ關稅上ノ殊遇ヲ許與スル場合ニハ之在匹敵スル殊遇ヲ合衆國ニ提供シ以テ合衆國カ其ノ最低稅率ヲ引續キ日本ニ許與スルニ對スル報酬ト爲ズヘキヨト

然ルニ關稅ニ關スル特別取極ノ締結セラルニ至ル迄ハ日本國ヨリ別國ニ許與スルヨリタルヘキ所ト實際上同一ナル好遇ヲ米國ニ許與スヘキコトヲ保障スヘシトノコトハ單純最惠國待遇ノ保障ヲ意味スルモノニ非スシテ實際上同一ノ好遇ナルヤ否ヤニ付テハ種々議論ノ餘地アルヘタ而シテ若シ條約又ハ關稅率ノ改正ニ因リ別國ニ對シ關稅上ノ殊遇ヲ許與スル場合ニハ之ニ匹敵スル殊遇ヲ米國ニ提供スヘシトアルハ畢竟所謂實際上均等ノ待遇ヲ米國ニ保障スヘシトノ趣意ヲ一層具體的ニ説明シタルモノゾ如ク之カ報酬トシテ米國ノ約スル所ハ單ニ其ノ國定最低稅率ヲ我國ニ許與スルニ過キス

帝國政府カ此ノ如キ提議ニ應スル能ハサルハ明ニシテ其ノ理由左ノ如シ

(イ) 帝國政府ハ其ノ關稅條約案ニ示スカ如ク米國ト相互ニ無條件最惠國待遇ヲ保障スルニ異議ナク從テ我國カ條約又ハ國法ヲ以テ或物品ニ付別國ニ與フルコトアルヘキ稅率社
便益ハ同一米國品ニ對シ直ニ均霑ヲ許スヘク其ノ代ハリ本邦品モ亦米國ニ於テ同様ノ場合ニ同様ノ均霑權ヲ有スヘシ

(ロ) 若シ米國政府カ右無條件最惠國條款ニ基ク同一物品ノ均霑ニ非スシテ特ニ或別種ノ米國品ニ付我稅率ノ輕減ヲ希望スルニ於テハ米國政府モ亦相互的ニ或本邦品ニ對シ米國最低稅率ノ輕減ヲ以テ對償トスルコトヲ條件トセサルヘカラス

(ハ) 本邦ニ於テハ單一關稅制ヲ採ルカ故國定稅率ニ高低ノ二種ナク複稅制國ニ於テ所謂一般又ハ最高稅率ト稱スルモノハ本邦ニ於テハ普通關稅ニ加フルニ輸入物品ノ價格ト同額以内ニ於テ勅令ノ定ムル額ヲ合算シタルモノノ範圍(新關稅定率法第四條)ニ屬シ我國定稅率ハ複稅制國ノ最低稅率ニ該當ス

(ニ) 且又米國ノ最低稅率ハ既ニ頗ル高稅ナルノミナラス今日迄之カ適用ヲ報酬トシテ特ニ米國品ノ爲何等ノ殊遇ヲ他國ヨリ獲得セルコトナシ米國カ昨年其ノ最低稅率ヲ各國ノ輸入品ニ適用スルニ當リ何レノ國ニ對シテモ今回提議シタルカ如キ條件ヲ以テセシコトナ

米國ハ其ノ最低税率適用ノ對償トシテ何レノ國ヨリモ殊遇ヲ獲得セサルノミナズ佛國及加奈陀ヨリハ僅カニ部分的最惠國待遇ヲ得テ滿足セリ

(ホ)殊ニ今回帝國政府カ何レノ國トノ新條約談判ニ於テモ主義上最モ重ナ措グハ

(甲) 我稅權ノ獨立ヲ害セサルコト

(乙) 別國トノ交渉ニ累ナ及ボスカ如キ協定ヲ爲ササルコト

ノ二點ニアリ若シ單ニ米國最低税率ノ適用ナ條件トシテ我稅率ノ据置又ハ輕減ヲ行ナコトヲ約諾セムカ是全然片務的協定ニ外ナラス何トナレハ米國ハ毫モ我ニ對シテ其ノ稅率ヲ協定セス從テ何時ニテモ其ノ最低税率ヲ增加スルノ自由ヲ有シ何等稅權ニ羈束ヲ受ケサルニ反シ我方ハ稅率ニ制限ヲ蒙リ稅權ヲ束縛セラルレハナリ又若シ米國ニ對シテ此ノ如キ讓歩ヲ爲サムカ佛國ノ如キ複稅制國ニ對シテ同様ノ讓歩ヲ爲ササルヘカラザルニ至リ帝國多年ノ宿望ニシテ條約改正ノ主眼タル稅權回復ノ目的ヲ達スル克ハサルノミナラヌ我經濟上及財政上永遠ノ利益ヲ損傷スルノ虞アリ故ニ帝國政府ハ到底之ニ同意スルヲ得ス既ニ前回ノ條約改正ニ於テ米國ハ自國ト對等ノ關稅獨立權ヲ帝國ニ認容シナカラニ至ツテ曾テ國際間ニ前例ナキ提議ヲ以テ之ヲ覆サムトスル如キハ帝國政府ノ萬々承諾スル克ハサル所ナリ

(ヘ)然リト雖米國カ右ノ如キ提議ヲ捨テ差當リ我提案ノ如ク單ニ無條件最惠國待遇(條件付最惠國待遇ヲ主張スルニ於テハ之ヲ相互的ニ爲サハソレニテモ可ナリ)ヲ互約スルノ外他日兩國間ニ特別取極ヲ行ヒ互ニ其ノ重要輸出品ニ付稅率ノ輕減ヲ協定セムト欲スルニ於テハ帝國政府ハ米國カ我商品ノ好販路タルニ顧ミ十分ノ好意ヲ以テ之ヲ考量スヘシ但シ協定ハ常ニ双務的タルヲ要ス

以上ノ次第ニ付帝國政府ハ米國政府ニ對シ内田大使ヲシテ左ノ趣旨ヲ以テ回答セシメタリ
關稅ニ付テハ帝國政府ハ其ノ關稅條約案ノ示スカ如ク日米相互ニ最惠國待遇ヲ保障セムコトヲ希望スルモノニシテ從テ帝國政府カ別國ノ或輸入品ニ對シ條約又ハ國法ヲ以テ輕稅ヲ適用スルトキハ米國ヨリノ同一輸入品ニ對シテ右ト同一ノ輕稅ヲ適用スベク之ト均シク米國ニ於テ同様ノ場合ニ本邦品モ亦同様ノ均露權ヲ有スルコトニ協定セムコトヲ欲ス然レトモ他日若シ米國政府カ最惠國待遇ノ條款ニ基ク同一物品ノ均露ニ非シテ特ニ別種ノ米國輸入品ニ付我稅率ノ輕減ヲ希望スルニ於テハ米國政府ニ於テモ亦相互的ニ或種ノ本邦品ニ對シ米國最低稅率ノ輕減ヲ希望スルニ於テハ帝國政府ハ特ニ米國政府ノ注意ヲ考量ナ加フルナ辭セサルヘシ但シ協定ハ常ニ双務的タルヲ要スルハ特ニ米國政府ノ注意ヲ希望セサルベカラザル點ニシテ帝國政府カ何レノ國トノ新條約談判ニ於テモ主義上最

尊重ヲ措クハ我稅權ヲ獨立ヲ害セサルコトト別國トノ交渉ニ累テ及ボササルコトノ二條件ニ
在シ若シ單ニ米國最低稅率ノ適用ヲ對償トシテ我稅率ノ輕減ヲ行フコトヲ約諾セバ是全
然片務的協定ニ外ナラズ何ドナレハ米國ハ毫モ帝國ニ對シテ其ノ稅率ヲ協定セス從テ何時
ニテモ其ノ最低稅率ヲ增加スルノ自由ヲ有シ何等稅權ニ羈束ヲ受ケサルニ反シ帝國政府ハ
他ヲ複稅制國ニ對シテモ同様ノ讓歩ヲ爲ササルヘカラサルニ至リ帝國多年ノ宿望ニシテ一
般條約改正ノ主眼タル稅權回復ノ目的ヲ達スル克ハサルノミナラズ我經濟上及財政上永遠
ノ利益ヲ損傷スルノ虞アリ故ニ帝國政府ノ到底同意スル克ハサル所ナリ帝國政府ハ前回ノ
特條約改正ニ於テ對等ノ關稅獨立權ヲ帝國ニ認容シテ良好ナル印象ヲ殘セル米國ガ今日再び
帝國ノ正當已ミ難キ立場ヲ諒スヘキコトヲ期待ス

斯クテ交渉ノ末米國政府ハ遂ニ我立場ヲ諒シ其ノ主張ヲ撤回シタル結果獨立ノ議定書ヲ以テ
他日關稅條約ノ締結セラルニ至ル迄現行日米通商航海條約中關稅ニ關スル規定即チ相互最
惠國待遇ノ保障ヲ繼續スルコトトナレリ（現行日米通商航海條約第四條前半參照）

三、永代借地權

永代借地權ニ關シテハ米國政府ハ左ノ規定ヲ條約中ニ挿入セムコトヲ提議セリ

永代借地券ニ因リテ保有スル財產ニ附帶關聯スル一切ノ權利、特權及免除ニシテ新條約實
施ノ當時存在スルモノハ之ヲ確認シ關係者間ノ合意ニ依ルノ外之ヲ變更スルコトヲ得ス
右ニ對シテハ帝國政府ハ今回諸國トノ現行條約消滅及新條約締結ヲ機會トシ新條約談判ト全
然分離シテ別ニ永代借地權問題ヲ根本的ニ處理スル方針ニテ目下考案中ナルカ其ノ考案確定
次第關係國政府ニ提出スヘク而シテ之カ處理ヲ了ル迄ハ現在ノ永代借地券ヲ維持スベキモ右
ノ如ク別ニ本件處理ノ商議ヲ行フノ方針ナルヲ以テ米國ノ提議ニ係ルカ如キ規定ヲ條約中ニ
挿入スルコトニ同意シ難キ旨主張セリ然レトモ米國政府ハ他國ニ率先シテ新條約ヲ締結スル
ニ當リ全然永代借地券ニ言及セサルトキハ自國民ノ權利保護ニ歛クル所アルノ觀アルヲ免レ
スト唱ヘ結局何等ガノ文書ヲ作成スルノ已ムナ得サルニ至リタルヲ以テ帝國政府ハ新通商條
約ヲ離レ一ノ獨立議定書ヲ用ユルノ案ヲ立テ兩國政府間ニ本件ノ根本的處理ニ關スル協定ヲ
締結スルニ至ル迄ノ間日本國ノ舊外國人居留地ニ於テ米國人人因テ以テ財產ヲ保有スル現存
ノ永代借地券ヲ維持尊重シ新條約締結ノ爲右永代借地券ヲ有スル米國人人權利ハ何等影響ナ
受ケサルヘキ旨一時ノ取極ヲ締結スルコトヲ提議シ彼我交渉ノ結果遂ニ公文ノ往復ヲ以テ本
件ヲ妥結スルコトトナリタリ右ハ現行條約ノ如ク永代借地券ヲ確認シタルモノニ非ス兩國政
府間ニ根本的處理ノ協定ヲ見ルニ至ル迄ノ間一時ノ維持シ而シテ永代借地券財產ニ附帶關

661315

十二

聯スル一切ノ權利、特權及免除ノ何モノタルカハ之ヲ定ムルコトナク彼我各其ノ主張ヲ留保シタルモノナリ。

右ノ次第ニテ本件ヲ往復文ハ彼我ノ主張ニ何等影響ヲ及ボスモノニ非スト雖素帝國政府ハ永代借地權問題ニ關シテハ何等ノ約束ヲモ爲サス根本的處理ノ考案ヲ別ニ提出シテ協議次ル方針ナルヲ以テ右公文ノ如キモ之ヲ發表シテ以テ他國ヲシテ其ノ例ニ倣ハムコトヲ求メタル好マサルニ因リ之ヲ發表セサルコトニ米國政府ト内約セシム。

四、沿岸貿易

沿岸貿易ニ關シテハ帝國政府ハ全然之ヲ各自國內法ノ規定ニ一任セムコトヲ提議セシモ米國政府ニ於テハ他國ニ率先シテ新條約ヲ締結スル次第ニモアルカ故最惠國待遇ノ保障ヲ得タキ旨希望シ結局帝國政府ニ於テ之ニ同意セリ蓋シ帝國政府ハ今後何レノ外國念慮之貿易權ヲ許與セサルノ方針ナルヲ以テ假令條約上最惠國待遇ヲ保障スルモ實際事ニ害大キル認メ右ノ如ク同意シタルナリ。

五、其ノ他ノ問題ニ付

新條約ハ我提案ト先方ノ對案トヲ基礎トシテ成リタルモノナルカ元老院會期ノ切迫シ商議ノ猶豫長カラサル爲先方ノ對案ハ成ルヘク單簡ヲ計リテ我原案ヨリ數個ノ條項ヲ削除セ其ノ

餘ニ至リテハ大體我提案ノ通ニ成立シタルモノナルカ新條約ト我原案トヲ相違ノ點ヲ擧クレバ左ノ如シ

一、我提案中死亡者ノ財產管理、商船内秩序ノ管掌、脱船人ノ回收及遭難船ノ救助等ニ關スル規定ハ別ニ締結スヘキ領事職務條約ニ於テ考量スルノ趣意ヲ以テ之ヲ新條約中ヨリ削除スルコトヲ米國政府ニ於テ希望シ帝國政府ハ之ニ同意セリ領事職務條約ニ關シテハ明治三十九年中米國政府ヨリ之カ締結ヲ希望シ其ノ約案ヲ帝國政府ニ提出シ爾來懸案の儘在即ナリシカ今回再ヒ米國政府ヨリ右締結ノ希望ヲ述ヘタルニ付帝國政府ハ通商航海條約締結ヲ了シタル後之カ商議ヲ開始スルコトニハ主義上異議ナキ旨回答セリ

二、旅商ニ關スル規定ハ關稅條約ニ於テ考量スルノ趣旨ヲ以テ米國政府ヨリ削除ヲ提議シタルニ付之ニ同意セリ

三、新條約第一條ハ主トシテ一八七一年ノ米伊條約ニ基キテ米國政府ヨリ提出シタル修正

2-1336

0013

意見ニ依リタルモノニシテ我提案ト多少書式ヲ異ニシ殊ニ帝國政府カ米國ニ對スル限り
頗ル重ヲ置キタル生業、職業等ノ最惠國待遇ノ保障ヲ省略セリ本件ニ關シテハ帝國政府
ハ右ノ保障ヲ明文ニ記載セシメムカ爲頗ル努メタリト雖米國政府ハ自國條約一般ノ例ニ
アラサルコトヲ主張シ殊ニ元老院ノ通過困難ヲ理由トシテ之ヲ承諾セス迅速妥結ノ必要
上帝國政府ニ於テ遂ニ米國政府ノ修正意見ニ同意スルニ至レリ

四、新條約第七條第二項ハ一九〇四年ノ米露商事會社互認條約ニ基キテ米國政府ヨリ提議
タル修正意見ニ依リタルモノナルカ既ニ第一項ニ於テ「其ノ國法ニ違反セザム限リ」
ル條件アル上ハ強ヒテ第二項ノ必要アルヲ認メスト雖之カ挿入ハ事ニ害ナクシテ一層明
瞭ヲ加フルコトモナルカ故帝國政府ニ於テ同意セリ

又新條約第十四條ニ於テ「工業」ノ文字ヲ省キタルハ現行日米條約其ノ他米國條約一般ノ
例ニ依リ之カ削除ヲ米國政府ヨリ主張シタル結果ナリ

六、條約及議定書中ノ修正

新條約カ元老院ノ議ニ付セラルルヤ同議員中當時問題トナリ居タル米加關稅互惠條約ニ付政
府ニ快カラサル一派ハ國務省カ日米新條約及議定書中ノ特別取極アル文字ニ藉リテ他日更ニ
議會ニ諮詢トナク右互惠條約ノ如キ關稅協定ヲ行フノ虞アリトナシ之ヲ防カムカ爲該文字

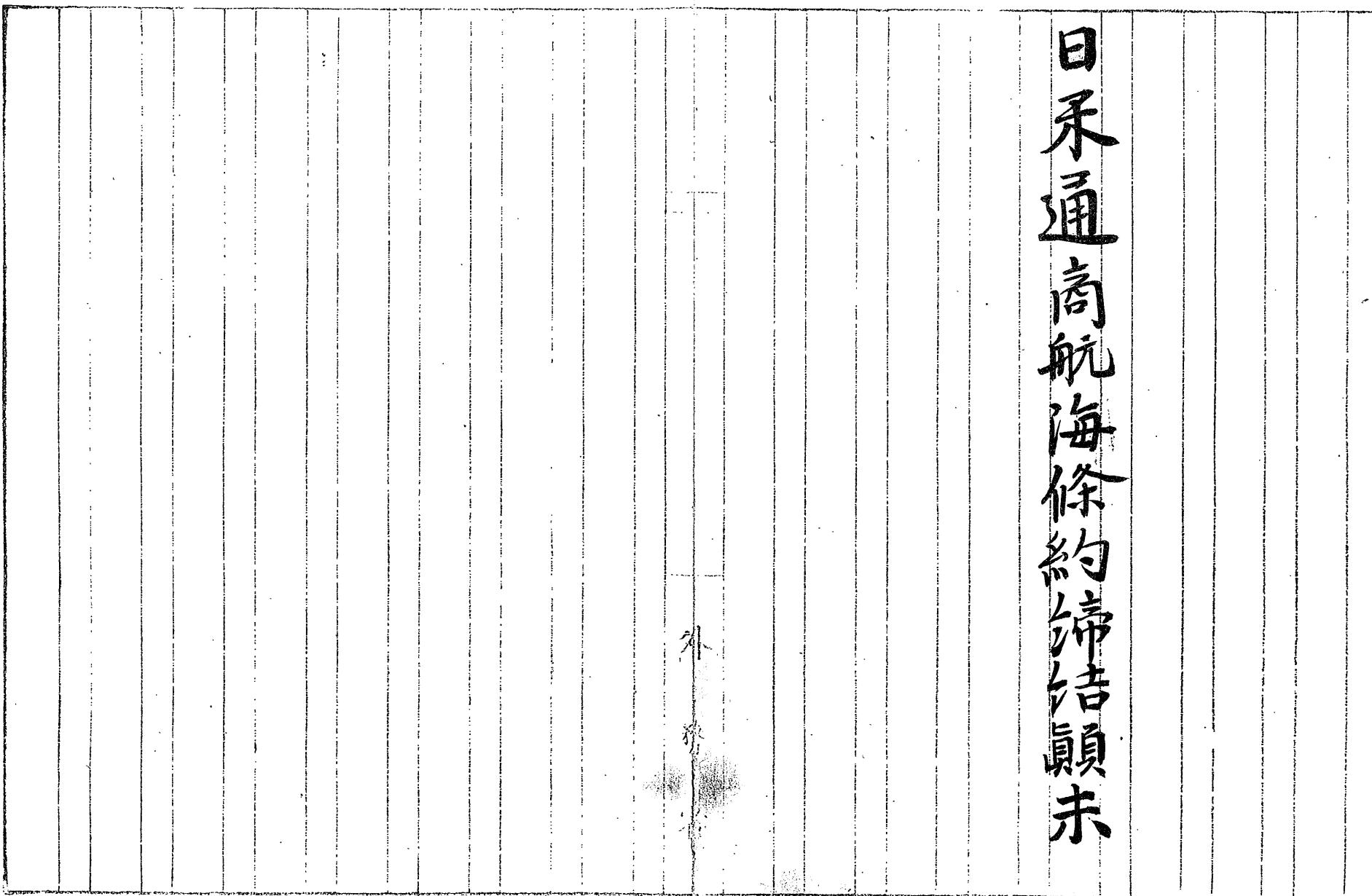
ヲ條約ナル文字ニ改メタリ右修正ハ帝國政府ヨリ見レハ何等意義ニ變更ヲ來シタル毛並ニ非
ヌ「トリーティー」ノ文字ヲ用ユルモノニテモ「コンヴェンション」ノ文字ヲ用ユルモノニ類若凡テ
之ヲ包含セシムルノ趣旨ヲ以テ特別取極ノ文字ヲ用ヒタル迄ナレハ右修正ハ毫モ我提案ノ趣
意ニ悖ルモノニ非ス却テ事態ヲ一層明瞭ナラシムルノ益アルヲ以テ之ニ同意セリ而シテ帝國
政府カ其ノ關稅條約案ニ依リ米國政府ニ提議セル眼目即チ輸入稅ニ關スル相互最惠國待遇ノ
保障ハ今回ノ議定書ニ依リ其ノ目的ヲ達セルモノナリ

日米新條約及議定書ハ米國ニ於テハ二月二十四日元老院ノ協賛ヲ經テ三月一日大統領之ヲ批
准シ本邦ニ於テハ三月三十一日陛下ニ於テ御批准アラセラレ四月四日午後三時外務省ニ於テ
小村外務大臣ト米國大使「オーブライエン」氏トノ間ニ批准書交換ガ了シ帝國政府ハ即日官報
號外ニテ之ヲ公布セリ

明治四十四年四月

661317

日米通商航海條約締結
未



2-1336

0015

目次

- 第一 条約終了期問題
- 第二 移民問題
- 第三 關稅問題
- 第四 領事職務條約問題
- 第五 永代借地權問題
- 第六 土地所有權問題
- 第七 工業所有權及著作權問題
- 第八 巴奈馬運河地帶問題
- 第九 条約、条文、關之商議
- 第十 条約、調印批准及批准書、文換

第一 條約終了期間問題

日米新通商航海條約締結、裁判、支那
之開埠シラサギニ日本兩國政府間立候問
題トカラシハ現行日米通商航海條約ノ終
了期限、開港問題ナシ、柳モ現行日本通商
航海條約ハ明治三十七年十一月二十二日調停レ
テ年三月二十日批准書、交換ヲアシ而シテ明
治三十二年七月十七日ヨリ實施セシム然ニ太閤
印ノ際夜金引方十九朱茅一項ニ
奉手約ハ昭治三十二年七月十七日ヨリ實施
セシムキミノトニ而シテ其ノ日ヨリ十二個年向効
力ヲ有ス

トマツ而シテ其ノササニテス

兩締盟國、一方、本條約實施、日ヨリ二個

年ヲ經過シテ後、何時トモ本条約ヲ
終了セント欲ニ申ロト他、一方一通知ニ、権
利ヲ有スヘン而シテ此ノ通知ヲ有ヒテ後十

二個月ヲ經過シテ後、本条約ノ消滅、

歸ニキモノトス

トアリニガ合衆國之充陳、於本条約ノ批准、
協賛セントキ前記第ニ項中不条約実施、日三十
ノ十個年ヲ經過シテ後、本条約削除シ是

代ヘニ其後トナニ文字ヲハシケ

兩締盟國ノ一方、其後何時トモ本条約

終了セント欲スル旨ロト他、一方一通知ニ

、権利ヲ有スヘン云々

ト修訂帝國政府ハ、^{○○}同意シテ然ニ右

文句中、其後ナル文字ノ意義曖昧シテ

シテ二様、解釈ニ下ラ得、即ヒシテ

第一段中、記載セシ実施、期日シテ昭治三十

二年七月十七日ヨリ以後ノ意味スルモト解釈
 ノコトヲ得テ又ニサフ一頃、未シテ記載セ
 エ本條約、有効期間、終了シトキヨリ以後
 ナ意味スルモト解釈スルトモ得テ若シ第一
 、解釈ニ從ハぬ本款行年約ハ我方、便宜
 依テ、今四段落セリ。他、該条約ト同时、
 痘葉ニ下タクレトモサフニ解釈、從トキハ
 治安四年七月十七日、至ラカレハ瘡葉通
 告フ契ニ下タク得テ從テ本条約ハ治安五年
 七月十六日ニ至ル。前減セオニコトナリ其ノ後采
 今面改拂ヒテ其他、諸条約ノ限治安四年
 七月十六日、於テ消滅シキ。拘ラス半周ト
 、條約合意の一個年、期官存廢シテ東
 約改正事ニシテ、勘カラサル不復ツ未スアリト
 明テ、依テ帝國政府ハ明治四十一年十月二十八
 日高平駐米大使ヲシテ本問題、開港市庫

別紙サハノ如ニ之書ラ米國政府一牒也
 ハ米現行通商航海規約サハ十九年ノ意義
 雖ヨタト無該条係ル、理由ヲ觀ヒトキハ兩國
 政府、右主張、實施後何時、テモ一個年、務告
 ヲリテカラ度々葉ニ得ヘントムニ加テ一意恩、有
 セシム見ニコト、帝國政府ハ法恩ト、現行年約
 改編、大抵事事改編、意思、有シ可ヒ、テ
 成立、日本、行カラ宣傳宣傳、日本、有
 次方、付、前記十九年、主張、開、之半開
 政府、是解、ノ知ニ、ノ一不幸、シテ西國
 政府、解取、翻語ア、於テ、布件、解、
 第、西國政府、國、協議、
 諸、症狀、行、付、占、用陳、ノ、土、計、半
 國政府ハ、年十二月三日付、實書、依リ布件
 二、開、之、の、政府、見解、同左セ、右、依レバ、其
 後、ナ、文字ハ、某、政、中、在、或、期、口、精、ス

661323

コト定ナチレル廿二年正月二十日
該条約、實施期日ト契、大了期ハト是日而
ノ如ナ場合ハ文理解取上最前、記載セヘ期日、閏
解ニシテモナト以フ其後トハ終了期日ナ次第ソ
モト認ノサルヘカラス隨テ英國政府、見解
解。依ヒハ条約實施十二組年ヲ経過セヘア
ナサハ各締約國、条約廢棄、通告ヲ發シヘ
コト能ハヌト云フア)然ヒ、現行条約締結當財
記録及該条約締結、佐ニ古ノタニ栗野駕駐
佛大使、記鷹、基ナリ中國政府、調查ニシテ所
ニ依ヒハ(ナ)条約、元復、廻附ヨラヘテ某升立寺
宣今、旅ア娘、不芳ニ頂ラ候シテ
兩岸盟國、一方、向時多々本条約ヲ終
アセケト欲ニシテ、他、一方、通知スル、權利
ヲ有ニシテ
リ栗野全權委員ハ(當時)条約實施、期日、暨迄ハ猶

2-1336

三年餘、期間アルテはテ右ノ妙リ体シセラヘニテ於テ
本キ約ク其実施セラレサル、先テ廢棄セラト、様、
コトアルニトテ屢シ直ニ白キ貿合、一対、而會シ
右候ルノ不穩當也所以テ昇駕ニ所該委員
ハ大修氏ハ長期、條約ヲ締結ニテ永ノ行動自
由ヲ覇帝セラヘニコトヲ好ニカレハアリカン虎ノ主
張、基ノモニシテ固ヨリ實施期日ニ先テ本キ
約ヲ廢棄スルナガリ意思アル、アラサヘニテ早
速
陸海空軍、於テ本件、角充ノヘキニトヲ約シ其
ノ結果の委員会、於テ、其後セラヌ
ナニ之宇ヲ挿入シテ本キ約実施在、何時ニテ
エナニ個月、穆岩門因ノセラ廢棄スニトヲ得
ルニトヲシケンモノニシテ沿革上、我解説、而當
ナニテ疑ナカリシテ以テ帝國政府ハ皆モ半承認
局者ノ文送ラシテ核トレテ、乙未治四十三年高平
大体ヨシテ此ノ政府、復書ヲ提出セシム
条文

、厳格な解釈、依る米國政府、見解ニ亦
白ニキ様見ニサヘアラサレバ元老院候而、理由並
其ノ當時、情況、微スレハ帝國政府、見解
カ而當ナリトセテ、上旨前記、事宣ヲ精細、
列記シテ、又記シテ、帝國政府他、諸國ト
、余行持時、日本政事ノ改編、大英帝
國政府ノ希望ヲ呈陳シ以テ本國政府カ帝國
政府、解釈ニシテ意セラコトヲ本メタノ點ニ、未
國政府ハ依然余文ノ之類解釈ヲ固執シ
之老院候而、現古ニ開ヒテハ而確ニ記録
、在古テ以上一二箇箇、且解ハ以テ余約
白文ノ文理解釈ヲ動カズ足ラスト主張シ
帝國政府_ノ^ノ密ニ_ノ^ノ爾_ノ^ノ國政府ハ本件
ノ開ニ因シ氣惱、實未タニモ各其ノ見解ツク
主張ニシテ、到底彼ヲニテ我ノ解釈、同意
覆
やんば下能リス

定ニ於テ帝國政府ノ株ニキテ

段ノ。奉只懇ニ一策ス。立歩ラ中止シ明治四
十四年七月ナセロラ候テ該条約廢棄、
並其ノ契ニ下トスニカ。兼メ現行条約有
効期間ニ関原ナム。但四年七月ナセロル記
行基シ、代ニヒカ新通商航海條約、序文
ニコト、米利政府、同意、得ル。クニ吉サノ一ヲ
依ヘ外ナキニ至レ。) 帝國政府ハ在オキ案ニ
ニ米高政府、同意アリ。下困難ナリ。知シト矣。

外
教
育
部
長
官
署
印

一
九
〇
市
針
ヲ
立
勝
ヲ
試
ム
之
ハ
四
十
三
年
四
月
二
十九
日
駐
米
内
田
大
使
ヲ
シ
ニ
半
政
府
別
代
ア
リ
ノ
如
シ
覺
書
ヲ
提
出
セ
レ
帝
國
政府、各國十一条約ノ成ニ可、向時、廢棄シ新
章四、四時、實施。乞キ希望ナルヲ以ラ半
政府、於テ現行章約ナリ十九条、解釈ニ關
セズ。昭和十四年七月ナセロヨ。該章約、代ニ六目
の第ナラ新通商航海章約、締結ス。ノ高義

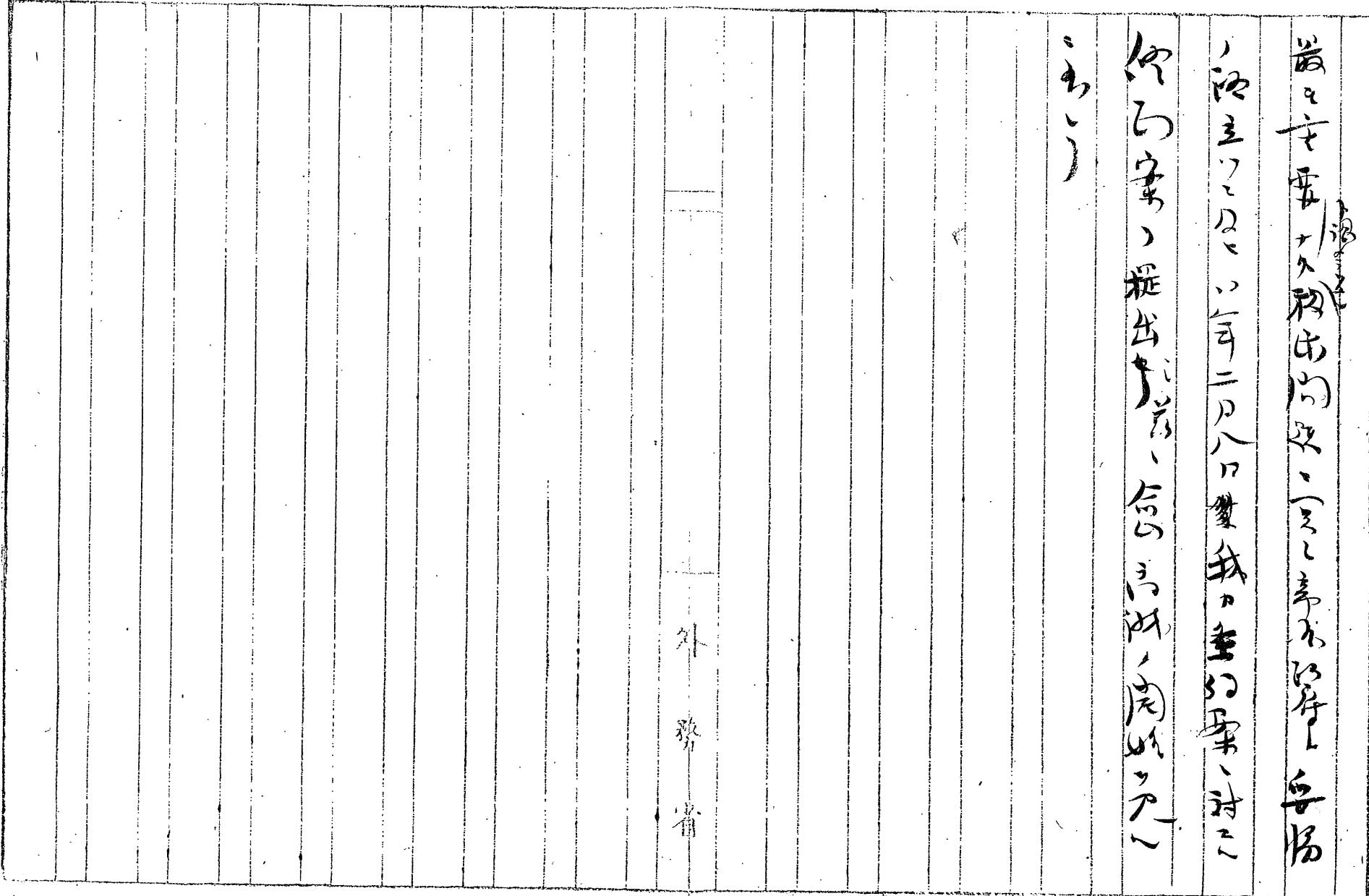
ト近ノ開港スコトニ同意ニテニキ旨認ノル事面
 而航商等の経営當時米國政府ニ辛先ニテヤ
 ニ連法、而議、而ニニ先例ノ援キフハアヨ
 政府、友好の考量ヲ求メシニ對ニ半互及
 府ハ口年五月二十六日宣ムリ外^{提携}政府ニ現
 行条件目下詳約、双方、對ニ滿足行ニ
 居ニテラス其、有効期間終了前新第約ヲ
 而議スヘコトハ國務尙、一在、ノ決シ兼ヌハ
 以テ而皆ハ此種而或々之狀而或々計主約節
 独、而議ノ開港スコト約束ヲ為スコト能ナニマニ政
 府ハ本件ニ實レ成ニテノ事而政府、希望、而
 上半ヨリ以テ若シテ本件政府ニシテ極メテ秘密、東
 、作成セシ新主約、性質ヲ開示セシ而シテ該柔
 約案ニテ亦、付議シ要セシラ半而政府、希望
 之所ト於ニ上半活用、於ノ思ナスヘテ然アリ
 政府ハ而議開端、件、一葉、而生、半國政府、

希望の如く様にて量りかへキ旨をセリ
 是於フ帝國政府、及於四十三年十月十九日
 内田大使ヲシテ、辛酉政府、佐政、係、通商
 航海等の安否及對外相互通報、通商條約案ホラ
 米國政府へ提出セシム、獨特移國間ニ遺書
 オ芝シ、タマニ米國政府之對外輪宣ノ四一年一月
 二十三日付公文シハ六種並内題、第一事、事件
 ナシ、小譯スヘ、がア、事件件件の以甲十四年九月モ
 ハ以六月廿一日ナリ。ヤナリヨウラヌ、ミスル、
 ハ、英法之二國、神、ムツノテ、ナガヤ日本ノ事、
 附、勿、タマニ、付、ヨリ、元始ニ始、ハ、敵大考、
 ナカ、主、事、がア、決定ニコト、ア、西、ニ、事、要
 ハ、既トシテ、一、事、和、合、事、萬、萬、萬、萬、萬、萬、
 信地機、出地行有被、世及、ニ、萬、萬、萬、萬、萬、萬、
 色、作、放、手、法、開、延、開、之、の、政、府、ノ、事、定
 テ、元、陳、シ、而、ニ、ア、ロ、ノ、以、序、ハ、太、原、ノ、道、出、

661329

備ニテ再ノ久松出の事、(レ)事ハ近侍一等
ノ御主ノ御子ハ年ニ尺八口鑿我・其の事、(レ)
而ニ安ノ挺出先者、今ハ御城、國城ア
セキシ

外教書



2-1336

8827

第二 稲民問題

明治三七年二月三十二日調印、日米通商航海通案
の廿二条末項、但本条及前条、規定ハ兩序
墨國、各方、並ノ高ニテ、二方勅裁、稲住、鑑察
及公守ニ關ニ致、行リシ又ハ將來制定セラヘ
法律、勅令及規則、何等、墨管ヲ及ホニテ
ナシレト、規定中、二方勅裁、科位、及、又ハ將來制
定セラヘキ、文字、猝入セラヒ、法律、勅令及規
則、付レハ外國人一般ニ適用ヘサセト、条件ヲ附
隨セサシハ、當時之中國政府、提案ニ對スル米
國政府、修正竟見リ、參酌ニテ相互安於リ
國ニシテ結果、外ナニテ然ルニ右、結果、現行第
廿一条ア一項、前二項定ニ入國居住等、自由
ハ禁キ無事項、少カラス制限セラレズ、他、
一般外國人ニ加ケル特殊、制限ヲモ相互通、設ケ
得ハメ班ニシテ、年約、明文ハ、同ヨク片務的、ル

ト雖 実際、痛痒の感スル、独、我國人、止々
リ米國人、向等 政黨、不利益ヲ蒙ル、虞ナキ有様
トナリ、但ニ、當時ニ至リテハ、移民問題、未、近年、
如キ賛成ヲ見テ、且米國政府ノ、美、年、独、諸、トニテ
ソ尙、税、自主権、全然、帝國政府、認容シ、而シテ、帝
國政府、於、ノ、迅速、條約、締結、切望スヘ
緊、ノ理由、ソ有セシ、以ラ前記、修正、承諾シタヨ、
リ、然レバ、移民問題、賛成ト共、現行、年、六、廿二、余
未、現、ハ、帝國、取、扱、ニ、無、因、ト、为、米國政府、
其、政體上、而論、ニ、顧慮、ミ、ノ、極特、無、疑、
排斥、ノ目的、トシテ、法規、ヲ設ケ、遂、至、底、我、忍
、能、カ、事、能、ハ、既、生、ソ、見、兩、國、ノ、文、誼、ヲ、損、傷、
通、商、往、連、フ、但、止、ミ、ニ、至、ナキ、ソ、併、セ、益、ニ、尤、
帝國政府、口、米、新、改、訂、核、シ、待、ソ、所謂、羽、氏、條
項、ヲ、板、焼、ス、ラ、バ、ノ、風、其、決、立、ト、為、ス、ト、同、
米、國、ノ、實、情、顧、ミ、ニ、到、底、多、數、ノ、我、羣、氏、ヲ、同

明治三年九月八日

國、度航せらる、得策ナラサル認ノ第ニ十五議會、
於テ程底ニ開ニ一般、方針ヲ設述ニシテ、美國

行及加奈陀行程底ノ制限、從末ノ通該貿、鷹行
スノキヒタ右一般方針、支那の宣明シテ、内外シラ、我
方針、存ニ竹ヲ知ニシ、鷹ノ末ニキハ米通商
全約、改訂、於テ雖開キ、本内題ニ辟メ備フ
ル所アリ

畢竟帝國政府、米國程底ノ制限、罔レア過

萬三年四月實行ニ至、一方針、將來、獨守持シテ
滿ニシテナム、米西久遠、文體、廢ニ被我、向サエ
斯年、因トナハ、侵襲ノ事由、防止、ノ、端々ト可時
ニ葛ヘ知人、権利自處ニ開ニ一般外人ヨリ、劣等、時
遇ヲ蒙リシトアシヤ、甘諾シテ、直毛ニ與、萬ツアル、何
サハカ如キ未約上、起走ノ國ヒ設、ニヨハ、独、體而上、
ナヌ、重大ナシ、利害一勞原、門ラニ至、底乃意ニ、能ハ
サニ所ト認メタノ日本更リ全約ノ改訂セシム欲ニ、

理由、他ニミ存ヌトキテニ二条ノ機事カ其ノ主ナニモノ、
屬ニ所レ宣ヘシル、在ニ

要ニ、致リキヨウニテニ二条主頭ヲ再ニ新キヨ梓入ニ
スルハ、帝國政府、到底前諾スヘ能リサヘリ英國
政府亦布件、重ノ携キテ、新キヨ談判上他向處ニ
リモサ方一、ナシ、内過ニ付我態度ヲ知ラド欲ニコト勿論
ナヘキハ、帝國政府、如ニ明確、其ノ意思ノ宣明
ニ、得策ナハラ、明治四十三年十月十九日新キヨ某
外
交
部
別紙第一
是
ヲ、英國政府、内ニシテト同時、一、宣誓ツリ提出ニ合
衆行、傍備考ノ制限、向ニ帝國政府アロリ英國向、
節議、生セサランメムカ為、從事仕意、宣行ニ至
拂八成績滿足ナシト、指摘ニ事態、必要トス、限
將來ニシテ、確立ス、宣快ナヒタル國陳ニト共ニ、帝
國政府ハ、既行、季約ナニ付仰書、規定、不必要ニ
シテ之ヲ存続ハ却リ誤解、因トメ、易キノンナリズ
三國氏、自負の、顧ニ到底同意スコト能ハカラル明

謄、告白ニ猶米國、立場ヲ諱シ、其ノ希望トアラハ
 新条約ト向時、六ヶ月、歲半ソバノ庶民ニ得ニ
 ト、為ニ將來万々難局、屬ニシテ自由ヲ存ニコトニ異
 譲ナキヒテ設シセ、蓋シ短期後、新条約ノ各
 一方ヨリ新条約ヲ廢棄し得ル、規定ヲ設ク事、キハ
 他ヨリ一米國政府、移民問題、為、甚シキ困難ソ
 感ニシニ場合、ハ木、規定ヲ利用シテ六ヶ月内、條約
 ノ西鷄脚ノ脱却ニ得ル、遂アヘ、故此辦法、在立、
 外務省
 国ノ概念、猶御未次ソ前降ニ一民國政府、國內支
 手詮、対ニテ辨解、縛リテ、又之老漫、付ニ批准、
 証契、ラホリニキ、認明、便ニシテ、キニ付箇國政府、
 大、韓皆ツ旋供シテ、事件、解決ヲ期圖シテ、ナツ然
 ハ、米國大統領及國務卿等、於テ、我辦案、格別
 、已共存ナキモ、元老院ヲシテ、新条約ノ批准ニ協賛、
 やニシニ見テ、ナキトキハ、折衝談判ヲ行フモ或ハ無
 益ニシテ、キカ故、甲府政府、先同慶議員、意願向
 國務院

内々見当ツ合ツヒモアシカガ長時ロツタル
 ルカガニ申ハ獨異端アヘラバラ米國ナ希卿
 シ其ハ支對ヲ謹防ニ且感之請リ滿洲セシカガ移民
 問題開ヒ外交局(diplomatic arrangement
 二依カシテ處理スギト新生治中、記入セシカト
 大希望ナシシカツ至底我、於ラ同憲ニシテ就
 ハサニ竹ナルヲアラマ推進セノ體ニ、國務卿、新帝
 の中高等カ志洋、宣レ規定ヌマハセシハ到底元老
 院通直、院ニナシトシ帝國政府、考量ヲホト
 特ニ英國政府、形式、體制、限、宣ニ文内ラ案行
 中、挿入スルニ斯然白意元ヨリ能リウニ本
 得、實レ迄未控、未シナガ方針、毫ニ変更ニ
 意思ナキラバ、半島政府、立場ニ顧ニ其上
 或示威、或ア其ヒヤソ聲明ニシテ締セサヒニカ
 而ノセ、是、於ノ英國政府ハ前代我宣書、討テ
 丙之トシラ而既四十四年一月二十二日公文並附屬元

書シ内田大使、提携セリ該公文ニ依ヘ半國政
府ノ制限、實ニ起立シ新章ノ中ヲ高
満ヌルコトニ意スニト以ニ日本國政府ノ半面行
程氏ノ既既ノ調節セリカ為過去二四年半實
行ニ來リ制限口柳制ヲ新章の存續中從
事ト曰様ニ屬行シ可目的、為必要之場合ニハ
而本政府共、協力シキト並^{新章相合}新章如何時^ニ
六四月ノ豫告、依^{新章相合}計幸^{新章相合}疾棄^{新章相合}得^{新章相合}シトラ
外^{新章相合}者^{新章相合}

商議、基礎トシテ新章之締結、茲利爾
品、實ニ日本國政府ノ希望、志ニキヒニ申奉、
内ハ本國政府ノ新章の調印、際右、趣旨ヲハ
ニ宣言ニキニトア解ニ乞甚^{新章相合}半面政府ノ移
民解決、基礎トシテ而記、提携、此^{新章相合}ノト旨
序ノ文文向^{新章相合}“其一、錢之內、澳東之程氏ノ制限柳
制^{新章相合}、主權ノ歸於^{新章相合}日本^{新章相合}之說述セ

帝國政府之對ニ米^{新章相合}政府ノ立場、顧ニ新

条約中移民ニ関シ何等ノ規定ヲ設ケサルコトニ同
意シタルニ因ニ帝國政府ハ万一誤解ヲ防カムカ
為新条約調印、際自ラ仕意、シ宣言ヲ為シ本
件ニ裏ニ帝國政府、方針ヲ變更シノ意思ナキコト
ヲ聲明スルヲ辭セサル旨並自國領土ニ渡来スル移
民ヲ制限スルニ得ル固有ノ主権カ曰米各國、存
立ニコトニテはテハ帝國政府モ亦米國政府ト所見
ヲ同フヌトモカナ為米國政府、聲明セシ通保ハ

締約ノ一方、他、一方、而此ノ本件つまし
別名此ヨリ異ナレル条件ニ體服せし凡て
是ニキシ意味スルニアサハラト勿論ナリト
了解スル有他、諸問題ニ付スル意アリ共
ニ内田大使ヲシテニシテ内田大使
シ訪ハレメ、米國政府、於テ日本の問題ニ及
シ日本為民ト對する差別の情勢ノリテ

ハ意恩トアササレ共ノ名前ハ約此
 制限ノ無不占有、主權ニ属スト、清
 ツ以テ元老院、及付御ノ鎮按ニシテ開
 今差別的付國方々、刀歎リ奉起スル
 於テハ又ニ再ニ元老院御另リ説服
 キサムハヤリサヌトナリ其ノ皆事列為被
 全國當中、御參照シテ飾詰スルノ通
 ニヨルコトキテ以テ宣一ロ正別的付國

外務省

司馬歎之御及セサムコトツ切官事務主
 修也ナリ御内閣大臣主權御
 爾主事ノ職務ニ於テ三ツ相應焉ナアズ
 今四都六府事務行、既而之中ニ
 乞及シアリクシテ御、於テ亦之時
 之ニ高乃國ニ於テ主權主ハ、伊豫文句
 ツ割除タル於テ、移行ニ於テ之亦之

エスカナルベオヨウシナヘニシルハ之身
 レ特急の待候、事半功倍也。改築後
 起業年々得かぬ。既文向、彼の
 立派なまほし内閣大臣、究竟年長者
 政府に於て、其の討罪及相成る事多
 々立言焉。ヨリ年々アキラニ相生シ以テ
 特急の待候、事半功倍也。改築セ
 レタントアリ。肆毛正之主産レテ、
 関府、御年序、奉し甚也。
 トヨモリノ日本事政、官事方事、相生
 レ申歌、御は生サヌ。其の討罪、相生
 レアリ。申歌、右宣焉矣。たゞ、
 レ

661340

Declaration.

In proceeding to the signature this day of the Treaty of Commerce and Navigation between Japan and the United States, the Undersigned, Japanese Ambassador in Washington, desires to assure the Honourable Secretary of State of the United States that he is instructed by His Imperial Japanese Majesty's Government to declare to the Government of the United States that he is instructed by His Imperial Japanese Majesty's Government to declare to the Government of the United States that His Majesty's Government will, during the life of the said Treaty, continue to enforce with equal effectiveness the limitation and control which His Majesty's Government have for the past two and a half years employed in regulation of the emigration of labourers to the United States, and which the two Governments have recognized as the proper measure of adjustment under all the circumstances, the two Governments when necessary co-operating to this end.

In obedience to this instruction, the Undersigned, has the honour formally to declare to the Government of the United States that so long as the Treaty of Commerce and Navigation this day signed between Japan and the United States shall remain in force, the Government of His Imperial Japanese Majesty will continue to enforce with equal effectiveness the limitation and control which that Government is at the present time employing in regulation of the emigration of labourers to the United States, and which the two Governments have recognized as the proper measure of adjustment under all the circumstances, the two Governments when necessary co-operating to this end.

2-1336

6038

ニ市長政府、於テ「大体如右」と云ふ事
付し。而後海ナシトヨ本件ニテスル年月
政府、一般方針上ニテ本件、立法ト
ニ歛ニ全般仕事、之ヲ行う事ナクの条
約、直接御内閣ニ行奉、之を保ヲ有セ入
上、又地元ノ該宣言書中、「我等即
在信仰有言」ノ如キ、則除シ又ハ弱
、故ニ本件政府の限カニヤレト、文句
無

ニ市長政府が毎年指掲行つ宣言書中、又
勾上レテハ不レ西郷丸、三ツ之相成、則
限無説、ニ市長政府の毎年指
之ヲ宣示スルハ勿論、一端セサル、則
アドリジラニリ割院シ又二年モトアル
建室ニ基シ「三ツナ」ハ改メシテ、トヨ也
ノ如キ本件政府の限草、其ノ時
代本件、其の事實、It does not differ 也。

In proceeding this day to the signature of
 The Treaty of Commerce and Navigation between
 Japan and the United States, the Undersigned,
 Japanese Ambassador in Washington, duly authorized
 by his Government, has the honor to declare that
 the Imperial Japanese Government are fully
 prepared to maintain with equal effectiveness
 the limitation and control which they have
 for the past three years exercised in regulation
 of the emigration of labourers to the United States,
 and which they recognize equally with the
 Government of the United States as the proper
 measure of adjusting the question in view
 of all the circumstances of the situation.

日本國政府：（印）日本國總領事、公文
 証書其上、且蓋之得タキ此部署

661343

大日本帝国政府の丸ノロナ回答書
提出ノルニ支ナリ五
ナリ

The Japanese Ambassador has the honour to acknowledge
the receipt of the Memorandum of the Department of State
dated 23rd January 1911 and to state in reply under in-
structions of the Imperial Government that they are extreme-
ly gratified to learn that the United States Government,
after examining the drafts of the Treaty of Commerce and
Navigation and of the special reciprocal customs convention

presented by the Japanese Embassy with its Memorandum of 10th
October 1910, are prepared to enter on negotiations of a
new Treaty of Commerce and Navigation to replace on the 17th
July, 1911, the treaty now in force. (In order to facilitate
actual negotiation of the new treaty, the Japanese Ambassador
is now instructed to present to the Secretary of State the
annexed draft of voluntary declaration of the Imperial Govern-
ment in regard to the emigration of Japanese labourers to the
United States. ~~This is not agreed in any essential points~~
~~from the Japanese Government.~~ ~~and it is hoped that~~
~~the Japanese Government~~
while is further instructed to state to the Secretary of State
that the Imperial Government have no objection in principle
to points 2 and 5 mentioned in the Memorandum of the Depart-
ment of State dated 23rd January last, while remaining three
points could in their view be arranged satisfactorily by actu-
al negotiation. Upon learning precise nature of proposal.

2-1336

804:

661344

concerned, Imperial Government, therefore, desire that the
counter-draft of the treaty prepared by the Department of
State may be handed to the Japanese Ambassador at the ear-

liest opportunity.

然るに本件は：明治政府が爲
シテ此の事項を了すに付する所
ク上皇元年正月、即ち日本改元の際
ト日本改元の大典に於ける御
式典、是れに因る事項を了すに付
日本改元の際、御式典に付
ト日本改元の際、御式典に付
ノ事項、是れに因る事項を了すに付

Government concerning the understanding of the
proposal relating to the question of immigration
set forth in the above-mentioned note of the 23rd
January last, 1882, 情報部長
アヒル達は：勿論の如きである

2-1336

8842

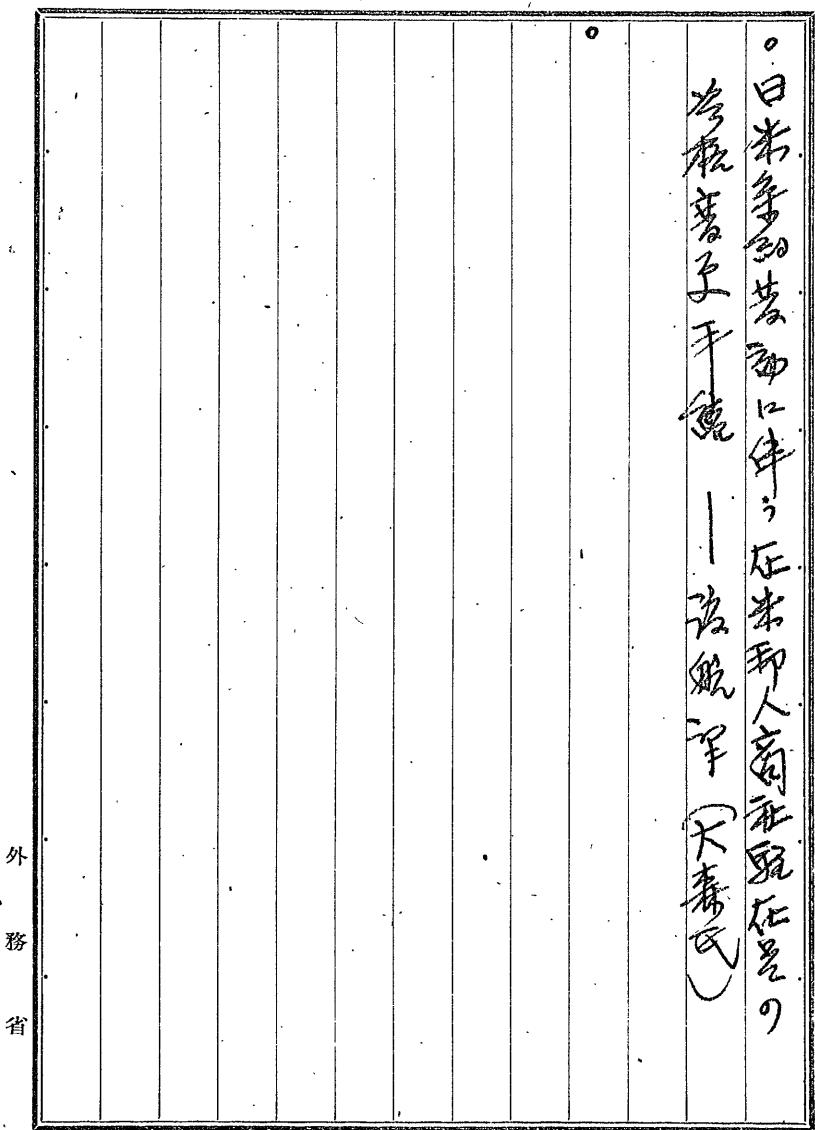
661345

不白府、決心回り、到、往、缺スバカ
サルツ知、之、同、宣、書、但、シ、右、公、文、世、間
ニ、而、傳、スル、前、ノ、書、向、生、スル、ト、廣
アル、ソテ、之、政、宣、書、附、スル、ト、ア、又、公
文、中、文、句、體、上、セ、結、本、文、言、系
主、也、 and which they recognize 以下、文
句、不、多、ナ、ロ、ト、シ、テ、承、可、也、有、ア
之、前、陳、ア、提、供、也、中、事、而、以、及
三
府、三、方、管、部、御、印、文、句、好、ア
ワ、ニ、依、リ、古、ニ、之、同、宣、書、ア
右、ノ、也、此、主、事、之、同、宣、書、ア
ノ、前、ニ、主、事、之、同、宣、書、ア
之、為、用、彼、チ、ト、御、レ、シ、ク、國、司
之、東、ニ、主、事、之、同、宣、書、ア
テ、此、主、事、之、同、宣、書、ア
支、ホ、方、主、事、之、同、宣、書、ア

2-1336

8843

661346



2-1336

0044

本卿、向日天子政府、作成事おシ
同大使ニ送り趣せり。

卯三　開航問題

至喜御府、之天税、之莫レお記一月廿三
日付公文府、度竟と申たゞ、之擇海

開航、之天税、之莫レ航行、之天税、之

ルルニ至ル日、之天税、之天税、之

別書、之天税、之天税、之天税、之天税

上向一花好遇、之合衆書、之天税、之天

アトリ保障、之若レ日本、之天税、之天

特別、之天税、之天税、之天税、之天

合、之天税、之天税、之天税、之天税

船供、之天税、之天税、之天税、之天税

ウリ達ナ日本車ミハ許ムスルニ時スル按
スルトガスノキ下

然ニシテ本邦ニシテナリ別御極、締結セ
スルタニ至ルニハ日本車ミハ許ムス
ルヲアリキ計ト、又ハ日本車紙ナル器立
キ行駆、運送ナリ旨味スルモノアラスレ
テ室屋上向、好ムナルヤマサシテ有テハ

外

禁

首

種々諸論、今地アリハ、而シテ若ニ系
み又ハ前元亨、設シ、伊國別高ニ
付シ、是既上、既過、行カズ、故ニ之ニ
正教ニ付ス、事無、相模ナシトアル
ハ軍竟所謂山、漢、均等、行カズ、
不居、傳達スルト、御高ニ一場興、併
的、旅貿レタルモノナシ。相模トシテ、
予約スルノ、即ニ、行毛、定義、辛シ

御書：行と支那。過年入。

市事の所を訴へぬキ提携。而之能ハ
サル。明ニシテ其ニ比由た。めし

（イ）市事の所。其ニ税金の事。ある。

めう市事ト双多ニ無事件是處を市街

西ア保降スルニ思はれナリ。近ニ税金

が多め又ハ高法。以テ或物不許別

事。どうナリアレマヨ税金上、便益

ハ何事か。計ニ直ニ均税法ノ行ス

ヘテ其代り申却多生未事多シ。於テ

向様、坊主の御用店所相り有

スヘン

（ロ）若レ市事カナシニナシ。是處を市宗

歎。甚う同一物事、場所にアリ。

テ持之或別行、市事アリ。は税金

年、屋敷ヲ希望スル。於テ、不

而政府ニ亦支其向ニ或本邦ノ事
ニ第不景氣稅率、輕減ツ以テ
計價下不下ヲ解禁せし也ハカニ

2.

(二)本邦之於「單一」稅制、採
用而當稅率之降低、之緩和、之複
稅制而就其所謂「假又「易」之稅
率ト併存モノ」即邦形之實面

外
傳
省

省

又本於加元之輸入物、傳播向
該國為之於那之輸入額、之全量
之輸出之範圍(即單稅率傳播
之象)ニ備シ特子定稅率、複稅
制乎而復稅率、降而不

(二)且又示予、最重稅率、既之既減、而
於其之後、今日本之之防用
之將減トシ、其之示予少為何事

661351
 2-1336
 2049
 ブルタリ他より種の事ナシ
 ある年、前年、
 諸人子の角を取リ何、而
 付し子を今、の扱はんと
 は、以テセントモハ其、而
 幸、お角、付はんと何、
 強弱、獲れサルミアス、
 奈也、ヨリ、走り部、の筋、
 過、
 ブルタリ他より
 ある年、前年、
 諸人子の角を取リ何、而
 付し子を今、の扱はんと
 は、以テセントモハ其、而
 幸、お角、付はんと何、
 強弱、獲れサルミアス、
 奈也、ヨリ、走り部、の筋、

幸ノ西用ヲ穿候トシテ、税候平ノ
 指立ニ、輕減ノ行ヲ下ツ約法セシム
 カ且全此片様の税候ニおまえ
 何トナリ。是事ハ、主に税、財、其
 税候平ノ、倍半を以テ、其の半を其
 月の征候年ノ、倍加スル、より而ク有シ
 行手税候之處。來、ゆケサルニ及
 之。其方ノ税候、利潤、貿易、税
 稽、又某傳セシルレハナリ。又若シ兄弟
 一派シ所、少子、寡夫、ナガラカ、仙人
 ハキ、税制、不付レシ。同様、税候
 ワナサルアカルニ至リ。亦、即者年
 、其在、是事、多め役所、主税院
 税候四復、同前、並記、其ノ
 之ナシス。特許、御上及御上、承
 制、蓋ツ税候スルノ上體アリ。故ニ帝

吉河府別荘にて同上
既に前回、本約改訂に於テ予セ
シ事下付等、實況指立権ウ希セ
リ。現実にナラニ今ニ至リテ當テ本
院官ニ向例ナキ程謹此ノリ復
サレトスルニギハ布主政府ノ事久承
滿之支川也ナ

外務省

(一) 等々上題事項ナチ、今年程謹此ノリ
御内申付申候事、めう軍事委員會は
當局正直アリ(余は自ら御内申付
ノ事無シスル)於テハニシアリ前ニあヤハツ
レニテモ可ナリ(其事御内申ル)お他同様
又百々特別の種々行ひ其き事
御内申付は既卒、經減、加官、セム
ト大なる於テハ希玉御内申事多
特有事、以故御内申歎え充る

好意ヲ以テ之ヲ考量スベシ但シ
宗廟ニ双称前トアシス

以上ノ旨旨帝主政府ニ帝主政府ニ時
内閣大臣リテモ、御参り塔四方セシム

天孫ニ付テ、帝主政府ニ其國後祭
の事、未だカムナリ日本未だニ易ニシ
清高リ、保障セリ下ツ節少シ

外務省

ヨーロッパ諸國ニ帝主政府ニ列シ
或然ノ事ニ付シ、宗廟ノ事はリヨリ
餘程、西用ノ事、未だアリ同一路
ノ事ニ付シ、右ノ事、特元ノ事用
ヨリヨリスヘリ之ト、専事於向航
塔之本邦主ニ亦同様、均勻塔

有之ヲトニ加筆セシトヲ、故又代レ也他
曰若し第多設行者、其事不濟矣、

余歎ニ甚同一物也、均和清アリスシ
 ラ特ノ別種モ多ホ故ノ事ニテ税
 率ノ輕減ヲ希望スルニ於ニ亦本
 政府之行ヲ本立能ニ成候、本知
 不得ナリ事ニ基於税率、輕減ヲ行
 フトヲ本立能ニテ税率ノ加減ヲ行
 ハ第ニ政府ニ模倣ナル度量ヲ加
 フリニ辟セサムヤシ但シカハ常ニ双
 外
税
率
 痘的ノルニ加スルハ特ニ本立政府、
 注意フ希望セサムアリ某兵ニシテ
 本立政府ヲ何ヒ玉ヒ、所幸め説
 利、於テニ本立政府ニテヨリ主アリ、
 特種病院ニシテ本立政府ニテ別玉
 ハ本立政府ニ及スカサムトノニ事件
 ニテ若ヒ軍ニ本立政府ニ輕減ヲ
 用ケ本立政府ニ本立政府ニ輕減ヲ

行ナドリ約倍セム力圖全然片務的
 機半ノガタニ何トナレニ事無ニシムニ希
 リ財ニ其稅率ナカニテノ往々行時
 ナモ其為低稅率ナカニ増加スルニ有
 ニ前未稅稿ニ蓋東ヲシテナシニシ節
 王政府一稅率制限ノ實事稅稿ツ
 東稿ナシナ又若し平易ニ封ヒ
 斷、少々譲歩クナサシカ他、無稅制工
 外、
 二封ニシテ同様、譲歩フアサシヤカニ
 ハニ至リニ亦至焉ハシテ、存留ニシテ一般
 奈乃改憲ノ主張先總元稿(四複)
 目的ニ付シテ、既ノさんノミナス御詔書
 上殿時以上御議事の意ヲ摸倣シ
 、庶アリ都ニ希吾政府、別道同意
 スル克ニサシテナシニ亦吾政府、前回
 宰相改憲之於御承、御統指立

精々御幸に過密となり良ひる印象
シ深せん承り候今日雨にて節玉正
め已の源中立精々難くキテラ期
付

然ニモ内閣政府の向毛カ内閣も幾多あ
生れん生る内閣と付し是既清和ノ子
ア居テ年一六年より事のな候
仰る方々、内々ス日未玉未、大ら

外

務

省

二顧ミ所幸の御幸、お構へ居て之に
トナツ也御下さり御宣傳上に比シ不
利不公平也か爲りやうせん、保降ウ
ムヨリまたヤリ出く御幸の事
ノ主なる事御承たる御事御あはれ、保降ウ
ミ高まさんめうも足元ノ如ク若しや、音が晴
シ於テハ行手黒旗ナリ其が提携未云亦
主御旨ニ基テ御制也やうして之に下毛岩

し地主等、商人等に於ける許されん減税。正
 教会ノ件也、別種、事務不^レ同^シ。實は
 セドスル、趣意十全^シ。而士商府^ム、
 然之處^ム能^リス。其提議、甚^シ
 片様不^レ可^リ。甚^シ年々ニシテ、始^シモ^レ不
 政府^ム被^シ施^セ地^ム換^{ヘテ}同^シ。提議^ツ
 方^シ事^ム、日本^ニ於^ク是^ム事^ム、^シ之^ム、
 政^セトシテ、同^シ可^リ。及^シ國稅上、
 外^ハ務^省
 特異^シ正教^スハヨ^リ殊^シ、別種、日本
 不^レ行^スキ^ト又^ハ今^シ調^セ下^シシ^テ
 不^レ加互^シ協^シ用^ス、加^シ在^シ地^ム、^シ之^ム
 ノト^シチ^ム減^セ税^ム、別種、正教^スハヨ^リ
 リ別種、向^カ不^レ白^シ日^シ、^シ提^ヒ供^スハ
 レト^シテ^シ正教^スハ立^チ居^ム、^シ之^ム拒^ム
 チト異^シトナリ。莫^レ當^シ我立^チ居^ム限^ム
 裏^ハ、餘地^ヲ旨^シ内^シ大^シ使^フシ^テ示^ス

661359

政府申込より候る事奉政府ハ第
五政府主張リ前記トシ奉の事候
一報、承赤ノ後即日代^{テリスル}議定書^{テリスル}以
テ他日之を既に國^{テリスル}所列如極日、歸^{テリスル}候
まんニ至ル止^{テリスル}四八年九月二十四日十一月廿二日
、余約申^{テリスル}存立^{テリスル}間^{テリスル}既に議定
即チ本立場^{テリスル}事務所^{テリスル}保蔵^{テリスル}姪^{テリスル}候
シト、承赤シ布^{テリスル}政府之向意也

外務省

2-1336

0057

印四

領事総務事務の締結

三の同元件

領事総務事務の締結は明治廿九年中
至る所府等の締結は専ら其の約
あり。而して政府に於ける領事総務事
務の締結は、領事官の明確な規定
の所に於て、締結より明確に規定す
る。

外務省

不以領事総務事務の締結と本件を混
同する事無く、領事官の明確な規定
の所に於て、領事官の明確な規定す
る。

諸々トヨハラ、船海事務の上同時ニシテ
締結する事無く、領事官の明確な規定す
る。

同时、前項ア開港税等に於ける締結の事
務の事務の締結は、領事官の明確な規定す
る。

アルカスニ、領事官の明確な規定す
る。

661361

外國商船甚多の、歸港ヲ完了シ
後此一其ノ荷物ノ同船スルニ同意スルキ
旨函文アリ。其ハ桂軍東洋の脅威ハ我軍の
如事中ニ有事セル財產右記、(大正四年)船舶内
候序、甲辰夏月。脱航ノ引揚及遭
(大正七年)難船、救助等之運送ノ如事
務事務之於考覈スル、趣意ノ以テ同
政府提携、新事務取扱事中ニ悉シニ
外務省

シ制降セリ

2-1336

8059

印五

永感信地權二つ失ふ件

前既月廿三日官房事務官政府、公文附呈
二月三日同政府へ曰奉手政府、於永

代借地權、現状ヲ確認シ且フ國保
呂向^{事件}同元清同縣、滿足^失ル如はツ

見此至ル止ミテ維持セリトツ而求^サ

布志郎府へ奉手取ニ及レハ今四箇月
トノ余約改築ヲ種合トシテノ終^ル也

外務省

宗理久方針^ヲ國二考事中ナトモ
新事務統管、権利トハ全般^を而確シ
ア別ニ而改充^シ候^ニ其^ニ考事^ニ確^シ
均布國係^ニ政府^ニ提出スベ^リ而シテ之
加^シ新規^ヲ經^シ上^ル政事、象代借地權^ヲ
維持^スヘキ旨^ニ因^シ然^ニ而至^ル政府^ニ
二月八日提出^シ之^ニ象代借地房^ニ因^シ此^ニ
余即^シ二月十日象代借地房^ニ因^シ此^ニ

661363

此款之條款。則與一國無此權利。
特權及免除此種事務的實權，除本
局之外，應由殖民地政府之總督
所獨占。於此種事，本局之國外之領
土、殖民地、加爾各答港之所有一切
privileges and immunities incident and
relating to property held under the perpetual
lease & existing at the time the present Treaty
enters into operation are hereby confirmed,
and no change shall be made in respect
thereto except by mutual agreement between
the interested parties to such a degree
that it will not go beyond the limits of
the original powers given to the said
agent.

2-1336

該處施設等凡一時所用之日外國人所用
地內於此處所生之國事或民事事件之行
為及該處所生代管地權之權利皆專委之
於日本政府。其事務的該處代管地權者
之辦事人、為牛込丸子町二丁目廿
二日、特此啟示。茲定此規則。凡之
除。行。事。部。署。及。支。出。金。下。之。規。

外務省

1. Existing leases in perpetuity upon which property is now held by American citizens in the former foreign settlements in Japan shall be duly maintained and respected.
2. The Treaty of Commerce and Navigation between the two countries signed this day shall not in any way prejudice the rights and immunities provided for in Article XVII of the Treaty of the 2nd of November, 1894, in favour of American citizens holding the aforesaid leases in perpetuity.

661365

米國政府は本件の事に於て、其の在る
中國の割據の下に於ける事に付て、此處
に於ける回顧を以て我機会有れば其の
リたる用意を以て

Existing leases in perpetuity under which property is now held by

American citizens in the former foreign settlements in Japan shall be
maintained and respected and all rights, privileges and immunities
incident and relating to such property and existing at the time the
present Treaty enters into force shall remain unchanged until a
satisfactory arrangement concerning the final disposition of such
leases shall have been concluded between the interested parties and
put into operation.

美利堅合衆國政府は其の在る
中國の割據の下に於ける事に付て、此處
に於ける回顧を以て我機会有れば其の
リたる用意を以て

2-1336

8063

関係手帳税例ハ東馬小蒸氣取
 貨ニ付スニ市税ヲモ納付せんシテ又ノ徵課
 ハ御主政府ガ之代舊地稅同様ノ經由
 稽定ニ至ルサルニ顧ニ大東納者ニ付及
 強制執行ノ如合セツ、アルニ対し於ニ之
 サレ一即、課稅ヲ免除せんヘキ特典ハ
 有スルカ故ナ公言スルニ之ニ固ラム而吾
 政府、私利私慾不ル能ハサルナリトア記
 外務省

第高修山萬古ニ依レ日本、桂ノ如院マツル
 保満寧久ヒヤ、御ノ御リサムシん總督區
 ラヨウ帝主政府ニ之ニ同意シテ下能
 ハ不依テ巴奈馬公爵スルヨヒリ割除
 ハ前文ノ如クアモ、カシシ更ニ内窓ツ
 ル事ニテ御内面ア二项ニ合ナリ第一项中
 オルハ文字ノ割合ナリトニ同意シ得ニ项
 ワセシテ、修正ヤ

661367

all rights, privileges & immunities
which are secured, by virtue of Article
XVII of the Treaty of the 2nd of November,
1894, to American citizens holding such
leases shall not be affected by the Treaty
signed this day.

新嘉坡總理、新嘉坡市長、新嘉坡
國稅司、新嘉坡郵政司、新嘉坡
律師司、新嘉坡律師、新嘉坡
新嘉坡總理、新嘉坡市長、新嘉坡
國稅司、新嘉坡郵政司、新嘉坡
律師司、新嘉坡律師、新嘉坡
新嘉坡總理、新嘉坡市長、新嘉坡
國稅司、新嘉坡郵政司、新嘉坡
律師司、新嘉坡律師、新嘉坡

2-1336

8865

右の如きを除セしタゞレシ前半改訂
鹿児島全般ニテ之等市町村更正、新規
橋ヲ新設スル事能ヒテ重出セ然支ヌン
モ猶同様ニシテテ新規、路線圖ヲ制定
セリ又ルニテアサヒノ右ノ範囲ニ付成
主張ヲ認可スルト共ニ平和ニ致候ヘ
テモ本邦主權ニ而歸スルニ足シキ方式
ニ依リテ決定セシル事ノ件ハ國會、國
外務省

附記
鹿児島全般ニテ改訂
新規、路線圖ヲ制定

all rights, franchises and immunities incident
and relating to such property and existing at
the time the Treaty signed this day enters into
operation shall not be affected by the Treaty;
and in no case shall American citizens be
placed in this respect in a less favorable

661369

position, than subjects or citizens of any other country.

上記の規定によれば、本件に付随する
日本、支那の領事館、商人の地位(shall
not be affected)と日本、支那の商人
が、貿易の運送業者としての地位(shall
not be affected)は、即ち、本件の規定
によって、その地位は、不受影響のまま

not be affected by the termination of the Treaty of
the 22nd of November, 1894.

上記の規定によれば、本件に付隨する
日本、支那の領事館、商人の地位(shall
not be affected)は、即ち、本件の規定
によって、その地位は、不受影響のまま
残る。したがつて、本件の規定によつて
は、支那の商人の地位は、不受影響のままで
残る。したがつて、本件の規定によつて
は、支那の商人の地位は、不受影響のままで

2-1336

8867

661370

of the 22nd of November, 1894. It is to be
noted that the date is written in English, and it is
not affected thereby. The text is as follows:

お意味の如く、此の國の事務政府
は、官山所、アスカト、萬本作成、並に年々
政府、雙方相互通用、而角等
改、又は、意味を抱取る事無地
リ、在より以て、其の御承認、得取テ
候。右事務所、門司、同意候。但
事務所、萬本作成、其の上記
水、紙等の付、御承認候
御、万本作成、萬本作成、其の上記
此ノ結果、萬本作成、形式、依ニテ

2-1336

0068

661371

トナリ

①

外

務

省

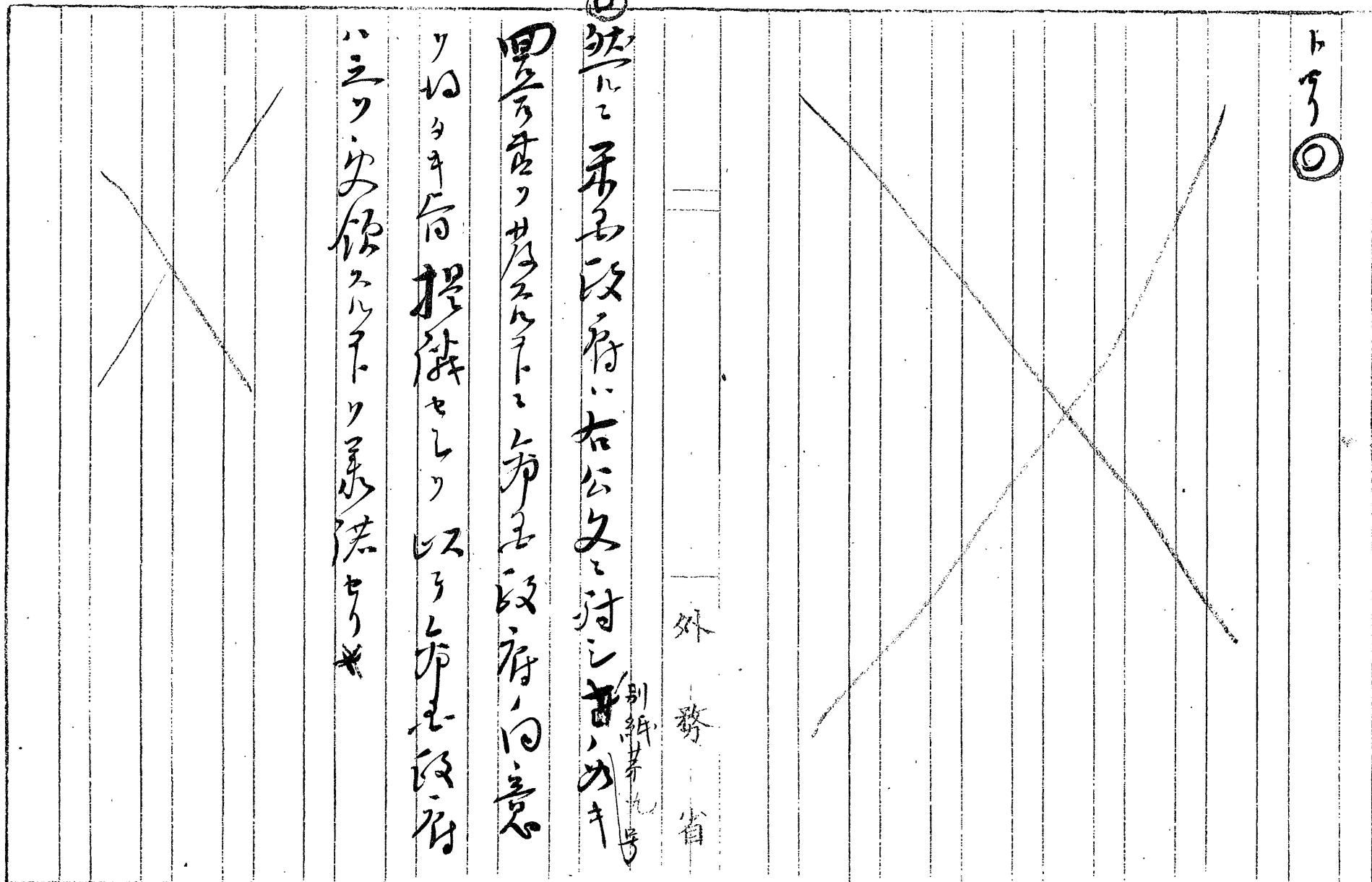
然ルニ承西政府、太公文ニ付シ申ハカキ

別紙第十九

國方吉ヲ申スル事、上節至政府向意

ツルタキ前相付セシリ以ニ節至政府

ハニツク申候スルトキ承志セリ



2-1336

3869

661372

而してある事政行の如文書ヲ出来候るに際
永、秋官・府主ノ事トリ内約シ度ニ本
件、^ノある事政行、安良ノアヘニ至レ

外

務

省

2-1336

0070

件六、土地所有權、實況
此點一月廿三日は公文附屬單件
而政府、土地所有權、實況を、以下記
載す
今農事、森林、水力、地質、土壤、植物等の調査
結果、トヨタ市布志政府、市長謹定
、ある御意願、請、せん旨は、
外務省
被當之條例、如西ノノ及、其ノ
制限的、土地所有權、而、其ノ
用、不許、トヨタ市、又兵
庫、於、其ノ不許、トヨタ市、又兵
庫、被當之、確證、據、其ノ、至、
其ノ、被當之、公認、セリ、是、全ナ
ル、故、カソ、有、シ、又、此、出、也、が、乃

661374

機会をもつては勿論、但し、
これらに至るに當る事は、別々の
印紙の適用ノ如クシ

上記の如き事は、政府の内閣大臣、
セ、及び四方を司る者

其他の有職者、又は、而も政府
の内閣大臣等の所長、據、
計り、運輸省の司人及、支那人民ニシ

外務省

テ種種は、常なる事体ノ異、何乞之於
テ、本邦、於テ其地所持權、享、有
スルマトリ、於ヘシ、而テ、本邦ノ正規、
官様ノ同様、何人等、上、正則、ノ
設、立、年、ナキ、勿論、年、空、多、地、
居、居、次、
於テ、本邦、其地所持權、
又、在、施、
用、也、
國、也、
之、也、
年、限、
亦、

2-1336

8872

海舟本末御用達御實施、曉
 之カ御用上寛大也御前
 旨多應御奉事人ツシ出地所
 有指ク事有其ノアトスヘレ
 鮮ノ御事事人カ御出地所
 地ノ本スル指列ハ之ヲ原トマスヘリ
 又車乗持事至總督事館、
 総督院地所、記深公徳、但
 目ニ車乗御事高太使館ト文房
 中ニ備シ之府官平賤正さん御
 バラアヒトハレ仕事地所
 指定高エル御新達御事館
 車用セル之至、え地所ニ國
 お手人一般ニ御用セルアリテ不
 も人ニ御用セルアリテ不
 但御用事人御用達御事館
 事館

件に付リ申下す。勿論
 無事承認有る。同上、或る所に於て同
 不人、土地所有權ヲ許与せり。又
 モ其ノ如きを改めて申す。又其事例有り
 云々。梓大前於此處、土地所有權
 便宣り日本而立。其處に日本者有
 其地主一人成。土地所有權ヲ
 許与ス。此處に日本者有權也。而之取
 行。今蒙承認。而梓大前は日本者也。
 本地所有權。許与スル。故にふと人
 云々。梓大前は日本者也。一案。二
 案。梓大前は日本者也。一案。二
 案。梓大前は日本者也。一案。二
 案。梓大前は日本者也。一案。二
 案。梓大前は日本者也。一案。二

外務省

661377

英、東洋の勢力による國の領土
を守る事は外務省の本職である。交換
手帳、通商手帳等の書類の提出に際し、
上記の如きの問題が國に大變な問題
である事は外務省の御了解

外務省

Referring to certain points of the Memorandum of the
Department of State dated January 23 last, I have the honor,
under instructions of the Imperial Government, to make the
following reply :
Tariff.
.....
.....
Land ownership. This will be regulated by the law of
the country, and foreigners and foreign corporations who will
comply with the terms of the provisions of the law will ac-
quire the right of ownership on land. The Imperial Govern-
ment will, by liberal interpretation of the law, be ready to

2-1336

8075

661378

grant the ownership to American citizens from all States, Japan, reserving for the future the right of maintaining the condition of reciprocity with respect to the separate States. The rights on land acquired by Americans in Corea will be respected. As to the recognition of the title-deeds registered in the American Consulate-general in Seoul, the Imperial Government are now considering the question with the American Embassy in Tokio, and believe that it will be solved satisfactorily to both parties. In case of the extention of the law of land ownership to Corea, it will be applied to foreigners in general, including American citizens, upon their fulfillment of the provisions of the law on the subject.

特命全権：大韓民國總領事
大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙
特命全権：大韓民國總領事：朴正熙

2-1336

8075

661379

付書此處於本邦之國籍之
文書及契約之權利之所有者
之手寫文書其上所載之國籍
或一般之國籍或日本國籍
與該文書所載之權利皆為
由上文書所載之國籍而得之。
八月二十一日
大日本國總理
外務省

Sir:

In reply to your inquiry about land ownership in Japan and Korea I have the honor under instructions of the Imperial Government to state that land ownership in Japan will be regulated by the law of the country, and foreigners and foreign corporations who comply with the terms of the provisions of the law will acquire the right of ownership of land. In return for the rights of land ownership which are granted Japanese by laws of the various states of the United States the Imperial Government will by liberal interpretation of the law be prepared to grant land ownership to American citizens from all the states, reserving for the future, however, the right of maintaining the condition of reciprocity with respect to the separate states.

The rights in real property acquired by Americans in Korea will be respected. As to the recognition of the title deeds registered in the American Consulate General in

2-1336

8077

661380

Seoul, the Imperial Government are now considering the question with the American Embassy at Tokio and believe that it will be solved satisfactorily to both parties. In case of the extension of the law of land ownership to Korea it will be applied to all foreigners in general including American citizens upon their fulfilment of the provisions of the law on the subject.

Accept, Sir, the renewed assurances of my highest consideration.

(Signed) Y. Uchida.

而今朝鮮政府、在韓米人等の土地権
及日本臣民の間で、ハサニナム
トアリ。此問題は、ハサニナム
トアリ。此問題は、ハサニナム

2-1336

8078

ノ
レセ
ニ
國九件

至多政府二月廿三日付公文附屬官令
中ある製造の於くお高ニ葉丹有税
乃第作税ニ付ル^{改者}御定ノ記載ナリ
即チ特許、意匠、上商標、上号等及著
作権、高通的保護、高通カ加盟^{ナキ}業
葉丹有税及著作税ニ付スニ多際
外務省

案内、一般起業等、同向、有ある
而^在御^在付^セセ^ル、トアトハキ特別^{ナキ}事^ナ
ニ依^リ、^セ葉丹有税^セナ^ルト^セ記^セセ^ル
リ抑^ム、日本^セテ^シトモ^セ、^セ葉丹
有税保證同盟案内^セ加入^セト^セ
系^セ、^セ葉丹^セ保^セ支^セ同盟案内^セ加盟
シ^セ、^セ葉丹^セ税^セ、^セ日本^セ有^セ税^セ、^セ特^セ別^{ナキ}
ノ^セ、^セ葉丹^セ不^セ、^セ政府^セ、^セ高^セ有^セ税^セ、^セ

久おのなあを加盟、おふくろの、存済
 えいの因テ以テ日手多とニ無事計有精及
 菁作機保護ツ行ツト、恩賜ナキ下
 えり候タス対ノニ承否政府か何故之
 クの件トシテ主其上はモウ御スコトト
 おせうナリ相スルニ甚レト無或ニシ
 由レ申候事叶申候、在候御有日本
 ニテ申候事叶有精保護同盟字
 外務省

仰う取限セシム又日本菁作機保
 護申候事叶申候セシムヤアヒト、御意
 二生テシムヤモ申レヌ向ヒセヨウ布セ
 府申候事叶申候セシム申候事叶
 府申候事叶申候セシム申候事叶
 申候事叶申候セシム申候事叶

卯八 巴掌馬運河地帶

二三五件

年土改有新事事、未用巴域、廣、有
餘地主、被土屬地及其、沒於該地域
三毛川、有其下之都堂、其、多而有其
大水、水多、初言ノ故セヤ、而多以
府、其、付多之形、前代、越牛、其多的
ノ事項、巴掌馬運河地帶、未用セキ

外

物

省

南記 次定
シトコト、一句ノ官、御手、御正門、府

主於、粗修地、本多於、吉角、巴域内、
入ル、下ノ粗修地、本多於、吉角、未側、於

ニ年巴域、其地、巴域、未用
内

巴域、主多、吉角、都堂、主多、若、先

方、於、別庭、之、同意、行、形、族

高、加文、向、割、降、上、田、主、其、主申、
序文、次第、亦、其、主申

admitted by ハラカヒガ、所、ソリ、御借、

661382

661384

地、事務の適用、範囲外に至るトク
提領する所を政府、主計局日本本政府
其相属地内に於て他處に許可し使
用する事、付テ之件とせん、即ち
セオルヤギウス³ as administered by、三字
失誤、ミテ有無シ五⁴、事、取扱
税金、文書、依、手書譯合國⁵、正泰
馬連⁶、主事、何苦⁷、該官⁸ニ至る迄
外⁹、
地、事務の適用区域、除ふスルヲ、
主¹⁰ナキ旨、主事¹¹、あわざ、府、本同
銀¹²、主事¹³、別種¹⁴、未¹⁵、皆¹⁶、事、政府
ノ如¹⁷、本事¹⁸、主事¹⁹、割²⁰、降²¹、巴京²²、ノ二員
ノ如²³、主事²⁴、代²⁵、使²⁶、管²⁷、地、稅、の、銀²⁸、トモニ、拾²⁹
諸³⁰、事³¹、如³²、取³³、生³⁴、セ³⁵、トツ³⁶、控³⁷、該³⁸、シ、易
代³⁹、地、稅、事⁴⁰、従⁴¹、付⁴²、一⁴³、取⁴⁴、シ、巴京⁴⁵
アカスリ⁴⁶、は⁴⁷、即⁴⁸、ニ⁴⁹、取⁵⁰、シ、在⁵¹、面⁵²、字⁵³

661385

アラビア語

1.

2. Nothing in the provisions of the Treaty
of Commerce & Navigation signed this day
shall be taken to apply to measures which
may be adopted for the administration and
control of the Panama Canal Zone.

第三回：アラビア語の翻訳

アラビア語の翻訳は、アラビア語の翻訳者による翻訳です。
アラビア語の翻訳者は、アラビア語の翻訳者による翻訳です。
アラビア語の翻訳者は、アラビア語の翻訳者による翻訳です。
アラビア語の翻訳者は、アラビア語の翻訳者による翻訳です。
アラビア語の翻訳者は、アラビア語の翻訳者による翻訳です。

661386

様にあつたが、本件は日本を除く除
外スル、立國ノアリテ、以テお記文句、
共通、provided that such measure are equally
applicable to all nations、と同一の用語に以
テ本件は海軍セラトヲ御存せし所
御主、政府、該文句、近頃之以テ捕獲、
文書、未接ツ行フ事、異存乎此の四者
セハ然ル事、及第主不接旨付亦

中、該文句、追加、及對不接、越々
トテ承認、政府、文、其追加文句御存
ク本件ノ内、内同便、本件御制、本件
アンガーン、既ト会見シ、章口本件全部、
唐繩、歸セシムト、吉洋シアンガーン氏
仰上、既ト、之回、意也、是も若シ不接旨
御、以テ本件無文書未接ツ行フ事、
在、以テ本件無文書未接ツ行フ事、

661387

アーティスティクス・アンド・ピース

Sir. (國務長官の内田大使へ郵送)

I have the honor, in order to avoid any possible misunderstanding in future, to declare that it is understood that nothing in the provisions of the Treaty of Commerce and Navigation signed this day shall be taken to apply to Panama Canal Zone. It is, however, the intention of the United States that the measures which may be adopted

for the administration & control of the Panama Canal shall be equally applicable to all nations.

Sir. (日本公使館へ郵送)

In reply to your note of this date, I have the honor to state that the Special Government entirely concurs in the understanding herein set forth with reference to Panama Canal Zone.

アーティスティクス・アンド・ピース

内閣書記官 大使館

2-1336

8085

不^レ於^テ右文告未接^ニ同意^スキ旨内
 因大使^ヲニ示^テ示^テ政府^{ニ申^ヒ}シ^テ之^を
 示^テ示^テ府^{ニ於^テハ}特^ニ宣^セ文告^{未接^フ}
 立^ツ張^シ旦^ツ該^{公文}中^ナ ト^ト ト^ト
 23^丁追^加文句^{ニ付^シ}到^着同意^ス
 下能^{ニ及^バ}サ^ル事^ニ皆^ニ准^セレ唯^特將^未示^ス
 か行^ク玉^ト余^タ所^ノ歸^ハ結^ス於^テモ
 今四^丁同^名巴^李馬^軍一^町地帶^ニ專^用
 外^ノ勢^ノ半^ノ
 や尊^シ仰^ギ下^ノ表^明不^レ下^ト、無^者詳^は
 宅^主の旨^{申^セ}到^着成^立其^ノ署^役
 乞^フ、印^鑑手^取上^レ布^示同^名府^ニ該^文
 句[、]別^シ落^丁同^名申^セ上^レ別^シ落^丁三^丁
 通^米國^ニ在^リ新^江口^ノ様^密候^ア内^田大^次、
 同^大次^ノ印^鑑手^取上^レ、該^文國^外此^ノ充^ニト^ト

文部省

支那の事実より、支那に上あ齊

前記の如き、支那政府、二月八日、將軍の命令に
對する回政府、修正あると、將軍の命令は
支那市立政府、支那内四大使うち
が、支那市立全権委員ト、支那市立
有、領事三名、支那政府、万々多賀、アヒル
至る、但多事とは、支那市立全権年々負ふ
二行、レント、支那、支那、カシ

外務省

(支那政府、支那の事実より、修正したる事、別
件、多事中、赤色イニヤツシテ記入)

前文、前文、支那政府、That opinion

and、次、to that end、之句ヲ押人セラ
トヲ、押人セラ、ソテ、支那政府、之回

立寫

介、一条、稱、支那事、形、仰、實、記、稿、列

事項ヲ明瞭ニシテ亦モテ松尾之んノオ
 計價據、他毛トクニヨリ事項ニシテ
 形式ヲ採、ルノ事項、政府ノ車票
 、件事ヲ一覽ナリ其、料金、ナハ百七
 十二斗、未併率約リ初ナトシ未滿カ
 現ニ満未ト歸結シ、廿三斗立印余
 約中二十六件迄、未而修止車票ト
 大同小異、起止ノ有スル、以テ元老院
 外
 頭
 車票ノ定員ナシニシカ為、之ヲ修止
 トトニテ、市長官署ノ今面歸
 徒多ナル、甲地、歸止、計率約上成
 ヘ、件事ヲアセシナカ為、件事率
 、往來ノ車票、未登記、元老院、今
 初行ナリ却而せんニアリ、亦無ノ墨
 ドワ盧レ、市長政府提議、形式

"同意シテク基謹トシガ余ソ付
 薦セリ下セヤリ而シキ事モ計事ニ
 依シ人モ、格別ノ松守シハ單ノ旅
 行シ連車、御内ツ保蔵セんカ節正
 道府ノ入出ノ事ニ無シテ、近車、歷
 史、顧シ故ニ之ヲシテ格別ノ明確
 "然シテ、此處ノ御内ツ保蔵セん
 在文字ナ、同上 enter た文字ヲ梓
 外 蔵 省

トセシ下ヲ主張シ右ノ既口日本年
 乃シ勿論ナガシテノ年、承宣年也
 4、5、6、7、8、9、10、11、承宣年也
 フル文字ナシ而況本シテノ承宣年也
 同上又承宣年也之省略シ States and
 Territories ナル文字ヲ使用セリト此
 拙、承宣年也中、用ヒアル、文書ニ
 之他、其ノナキノナク承宣年也

ナニカの州 及領地の種類の名
 サル武田の都下の役所の之の汎シ
 改圖ノ意の跡入り territories の文字
 改トナリテノ都下の役所の汎シ回
 異なる又不動産の於テ、
 occupy houses & warehouses たりとも和方の前
 賃行日本業の、
 hire & occupy houses, manufactory, warehouse & shop.
 之の改トナリテノ都下の役所の汎シ
 行 manufacturers & shops の文字
 リ所の改トナリテノ都下の役所の之の汎シ
 宅の押入日本業の、
 有地の根付の都下の役所の之の汎シ
 行アリテノ都下の役所の之の汎シ
 トナリテノ都下の役所の之の汎シ
 之の改トナリテノ都下の役所の之の汎シ

リバーナード fine 1,000ルーブル lease - 1,000ルーブル per month for residential purposes
" for residential + commercial purposes
" commercial and other lawful purposes
" for lawful purposes " リバーナード fine. Residential: 1,000ルーブル per month, residential + commercial purposes, commercial purposes
Residential fine 1,000ルーブル per month for residential purposes, submitting a certificate of payment, confirming

themselves to the laws of the country or
自分たゞらは國の法律に従事する所
when submitting themselves to the laws and
regulations there established "政令規則".

府の文書

御内閣の内閣官房、外務省

内閣官房、外務省

They shall be placed, in regard to the
exercise of callings, professions and all industries,
on the same footing as the subjects or citizens
of the most favoured nation.

外國の國民と並んで同様の扱いを受ける
外國の國民と並んで同様の扱いを受ける

至る政府に奉起止、かまひ事より
諸事ト等候候先事の事の申中其、
何う又せん十之六右の日本掌
總務省ノ加利其他、地方、於ノ日
示人、該事事由、起り申向覗
候、於ノ日本而政府、於ノ追加ツ
希シテヤハナシヤキは森本菴ニヤト
ル告、於ノ極日清事、強出スル今
外務省

日列省元老院ノ事少佐ソルニスレヒタ
ト主事ニ成高、於ノ「示事」被内多御
中、比較的、新ニキ方ニシテスル白耳
袋、塞耳以重、ロサダガスケル、公用、
西班牙語ト、參照ニ、於ノ「示事」即
4 industry 又、Business づ事人保
持ナリ殊ニマサカスカル多事の御三事ニ、

三國五島開港場事務所、支那アリハナ
 3ス院ニ高麗民、佐摩ト内通リ復ル
 ル埠上一切、殊葉及多喜等事に付シテ
 落葉木、落葉松、ウニタルヒキ等之物事
 トトヲ極力除却シ、追加リ主
 ラニ特命使官ニ高麗又ノアモロ、
 不生産ニ歸スル、計ナキニ至ラん
 外務省
 リヨウキナガシ政府ニ送致する其ノ根
 源ノ概要
 本邦御三殿中、此最もconstant
 protection + security + proprie
 ty + inland + complete protection +
 security = 關稅事務所、支那アリハナ
 支那政府：most、支那アリハナ割
 フル、同様にセセセセ complete たる

661397

文書を加へん。ト、別個の意を有
する事當る。蓋し、究々主に保護
の保障と年々の給付も専門とす
る府、ボランティア保護者にて充
て、トマトアーティスト、セントラル・キリスト
教の宣教工作不之同意せり又同
事中 shall be granted、次句：

may be granted、次句： 附
至

務 首

前記の事項は、政府が保護する
被保護者、その政府の太陽の同意
の下に、行なはる。

本件は、本件の、被保護者、
の申請を除く、被保護者、代にて
ハシタツ者、其の者、本件である
ことを、本件の、被保護者、の複
数の部屋に亘り、本件の、被保護者、
の、本件の、被保護者、の、本件の、被保護者、

2-1336

8095

和漢本邦年、大正二年六月一日
至宣之主乃御内閣主將回シキノ所
御事あノ様用セリトヲ吉津也ニモ
御府ノ服役ノ代トシテシムト一句ヲ復
活ノシトシト同意テルニシムレシ
諸セサリシヨリ以テ山形御府ニシム
は不思おノ山形ニシム

外務省

御ニシム　新潟・福井・山形・中

Re: Lawful purport, when purport of
residence or commerce to give,又
other law, or ordinance + regulation)

支那ノ國がセラカシホモ御府ニシム
高木

御三条　御手ノ係レシ御内閣主將出城、
多御經事、御、外事、内事、税、税
種

661399

事に及ぶる所の御恩を蒙るに極めて
失心頭を以て其の身の内を悉く知りて
ある政府に之を以てはうべからずやんと
本多政房に近づか。同様にシテ
1. ピュロー、達文、高橋、川井等
“近々今後手を貸す所の御恩を蒙る
所中三種類の古参の御恩を
御、おうとうの御恩を蒙る所の御恩を
外務省
本多政房に近づく所の御恩を蒙る
privileges、又その御恩を蒙る所の御恩を
近づく所の御恩を蒙る所の御恩を
A immunitie、又その御恩を蒙る所の御恩を
本多政房の御恩を蒙る所の御恩を
近づく所の御恩を蒙る所の御恩を

2-1336

3097

661400

御内閣は御承認候。之に御座
其、也、乃、ハ、シ、テ、ノ、ル、ハ、解、也、
大、文、部、省、御、持、ト、ハ、有、レ、バ、其、也、

discretion、ト、ハ、有、レ、バ、其、也、

Explaining、& communicating、致、ル、ト、ソ、

指、示、す、事、件、御、承、認、シ、ル、四、書、

ヤ、

御、内、閣、御、令、行、使、御、中、領、

外、務、省、

事、件、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

之、の、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

事、件、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

之、の、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

事、件、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

之、の、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

御、内、閣、御、令、行、使、御、中、領、

之、の、御、持、付、其、の、事、件、御、持、付、

所事行當ノ機密セス (米嘉芳四条)

伊六条 手書傳手ノ依ニ分一項トボテ

one of 、文字ノ割合ノ内、

前、The タル文字ノ割合ノ内ニ項トボテ

三項ナリ今併レハ三項中、in restriction

be maintained or 、文字ノ割合ノ内ニ項トボテ

十之手書傳手ノ割合ノ内ニ項トボテ

the タル文字ノ割合ノ内ニ項トボテ

外 務 省

二項又三項ノ成手書傳手ノ割合セシ

タクノ割合ノ内ニ項トボテ

形ノ内ニ項トボテ

手書傳手ノ割合ノ内ニ項トボテ

セキノ内ニ項トボテ

手書傳手ノ割合ノ内ニ項トボテ

新規作 手書傳手ノ割合ノ内ニ項トボテ

次ノ如ク日本文書ノ内ニ六条

通商税、文庫の存入等の事項
正月一月一日起止、指主、一月半
輸入サムナトヲ控清らるゝ事と申セ
府ニ之ニ同意シ（元豊元年六月）
御七条、正月御府ニ申奉、起止ヲ他
日別別の税額を申候、併ニ考
呈シテノ事と御申す。國に申奉申出
リ御降セシムアトヲ控清シ申奉。政府
外務省

ハシニ回音セ

大八条、平年御府、八年、平年
余ねル、余、御申セテ、故ニ本多少二
段上申お候、越後・上うせ又・組合の事
事より御申セシムアトヲ併リ申候
上御申、御申、有申上、御申、御申
度、御申セシムアトヲ下リ申候

The foregoing record is to be used.

本政府が于ニ主權上該國を一國
 トスナレ無其、未だニ干涉ヲ有ガ候
 地及名屬地、該地ノ通商貿易等セシ日
 期至多地該處に於ク何事ニ及バズ
 ナキソツシ including 以下、文句ノ割合
 テ或在 any part thereof タル文句即
 23 佐野景園、而武トナシ所方ニ於
 之亦多清矣鮮少々具、内ニ包含
 セレム松林寺セラテラニヨリ強モ無
 諸君ニ之ニ付シ元老院ニ請御シハ祖
 リナトヲセシムトナシ、御正アリハ松
 スルキトノ如クナク之ニ成漢、御正セ
 モトナシカ、主張ヲ宋ん、アトナレウ其
 他諸經緯、要シ or agreement、文ニ
 “剣閣之件トセヤ”(平多馬九七条)
 附九条、本多・山口・平多・久府

日本、宇治、神足上、御山、川越
葛原、御馬頭、御前、御手、御大門
入り口、御三門、御宿、御中、御内、御外
御内、御中、御外、御内、御外、御外
御内、御中、御外、御内、御外、御外

(宇治御内、御外)

中、 territorial waters、 沿岸、 parts of the
Territories、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸

沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸

port、 basin、 沿岸、 沿岸、 沿岸

沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸、 沿岸

カナダ、本邦の領土を有する事無く、
主ぬ、修正ツおんと國外に在る事
御主の國外に在る事無く、national vessels
national status不支給たり。日本は
割離セリテリ於付せらる。故ニモアレ。故
府一派が主、彼等ノ都合セシム也。
其主張ノ由ル故ニモアレ。故キヤ。

(サトウガタナカ)

外務省

即十二年、本邦領外航行ノ權力無事
「領外航行」Revert or comalage 12 years
"or changes 12 years to 12 years territorial
waters ツ parts of the territories "改订
reisela ツ 同上 12 years to 12 years
改訂後航行の範囲を改訂前
航行の範囲と領水の範囲を改訂内、
然し改訂の所は「日本を領有」

萩・尼東の領地の範囲は、折
 伏ケルヌカシナクト御領セシニ國ニノ
 県
 丹波府・伊豫郡・若狭郡の三
 “伊山郡・大野郡・越知郡・伊豆郡”
 ツ
 全部 之ノ四郡也（承和年十
 一年）
 十三年、本多・久松等子等々
 て
 改メ御領也。又同郡也（承和年
 十二年）
 萩・尼東・信濃・伊豫等の諸
 侯府・今井家・織田家等も、其内
 法、近江の一任也下ツ御領也。此年
 丙寅年也。此の年も、布教印
 旨・萩城主他領・上平先主・折多主
 ウ等諸侯等が、以テ其降を保

二國の國民は皆平等に待遇し得る。保有する
 パソコロの所有者を告ぐるに於て我等は
 一切の税金を免除する所である。但し
 起居の店舗セラテツ、旅館セラテツ
 等政府の特許を有する者、並びにオランダを
 沿岸貿易の権利有する者、又針
 ツ等の特許を有する者は同上に免
 除適用される。實際上同上に免
 除外
 岸警の指揮下に於ける捕縄船は
 都市手帳本生の者又は保険
 諸事項の上に於ける者、又は
 白手章持者、船員の同上に於ける
 事項の上に於ける者。但し
 中立の向の開港場に於ける。It is however
 understand that the subjects or citizens of
 either contracting Party shall enjoy in this respect
 most favourable treatment in the territories of the other

文句、改ムリテ、相模レキニ、國府、
之、同上。

伊十五年、飲車、殊語レキニ、起止ナシ、
以テモ、國府、車多シテ、事割降セ

レテ、相模レキニ、市本政府、之、同上。

伊十六年、同上。

伊十七年、同上。

伊十八年、市本政府、於テ、城下集中

外、務、省

在本 and industry、人文字ノ割降シ、工事等、
又、之、其事也、酒税、課税シテ、
トトヤ、其政也、該文字、市本、政府、
れ申シ、先例、之ナス甚、高萩市
テ、酒税、失トテ、市本政府、
之、付シ、ナハル、十一年、市本、政府、
五年、本政、被、文字、使用シテ、先例、
後、之ナカ、維持ナシ也、不、

政府の形手トシニ之ヲ指給し兩三キ
月ノ後モ同府紙文書ノ母ノ設ス
ルノ事トナカリシ事ニ御主政府一處指
す漢文字ヲ刻除ス等ト向言セテ又
手西多ミ似シ the same or 、文字ノ
刻除ヲ御主政府ボリ之ヲ
由リリ多々スル不能ツニ成リ矣
於ニ用ヒテ文字ヲ除リシ事外務省
主政府ノ主張シ若シ平素御府ノ所ト確
信文書ヲ刻除ノ主張スルトボリハ甚シ
如内ニ承認シカナル事也
吾政府一本多力宣稱ニシテ用セラ
シト得御内シカナル事ニシテ得也
同意タリ(手書高季)

661410

若々多スル。此日平手の御十人車。其
ノ船持主、一車。之を追加ヒトヲ持
浦。市布ノ酒屋一本保つてスル。御多幸
御二日秀吉見上多加留。之を之ナム。
方々より西内様ツヨヒニテ、之を起
セシ欲。本年ノ限リ、此御、御ナサリシ
元度。千葉蔵、喝ハル。御内之舟セカラリ
此子手玉酒屋、提滿。向意也。(手写)

外務省

書

(^甲五葉)

御取次 平手事事部下共。有十人車

手

御十人車、 本手車。同前。已未年正
室。向地等。之有。人保。一部。之於。御付。レ
め。又。多。所。旅。未。渡。往。來。未。利。難。者。
先。此。手。車。手。再。流。失。

御手車。 手多車。 保。一本。手車。少十

二年。レテ。二葉。所有。種。法。宣。化。紀。年。

2-1336

8:08

政事主事科等車中より随破船費用借還
 事務外車輛ノ割除し其向に修正ノ如く
 上ニテ第一項トナレ別に代價地積ニテスル
 規定ノ如二項トニ付加シ随破船費用
 借還事務外車輛ノ取扱中より割除
 八トニ付事務外車輛ノ運賃保列高下方
 代價地積ニテスル更正ノ事務外車輛
 附セシ上ニ付掛高の支拂元意思
 外務省
 トヨタ車輛ノ運賃中より何處取
 トヨタ車輛ノ如ニ付リ之ヲ割除シ折合之
 徒歩立エトラン被取ヌル事ニ同意スル者
 因立セリ而止其ノ事務外車輛ノ付合之既
 ニ付正シタル事此ノ如ク之ノ如ス
 即ニ第一項
 事務外車輛ノ取扱中より代價地積ニ
 定ムノ如ニ第二項ノ割除し其ノ代價第一項
 二年三月十二日午又ノ付約書

一方、他、一方、附レ本多の唐事、憲思
 ツ向告らん日ヨリ二ヶ月、陽月ニ至ル迄
 放カク有スト、文句、附加テ、然ル太行
 正ニ依レハ十二仰年経過、既全高飾
 級馬カ本多の唐事、高麗、高麗、有セ
 ヌトユルモ御代本多の事矣效^ニアトト
 たり以ニ帝士國府ヨリノ注意、
 采市主政府一文、其、修正ツ改シ中宋施
 外教省
 in which ド君ノフトノ前ノ during or after
 the said period of twelve years
 一尚ツ捕入也下ツ招請ヲ既ル、右、文句
 “高士高事、明確ワ穴ノ唐事アリ”
 事高、存續期限未満の事、
 事高、^{既ル}既ル、生詮計アル、敵、
 敵モ明確、起事スル、本多のソ済ムレキ
 国行、右文句、捕入代ルニ本多アリ

661413

日本と大英帝國との間の
通商と通航の規則

英國政府より

Each member of the Contracting Parties shall have given
notice to the other six months before the expiration of the said period
of twelve years of its intention to terminate the Treaty, it shall
continue operative until the expiration of six months from
the date on which either Party shall have denounced
it.

スコット

日本政府より

I denounce it under a given such notice

日本政府より

日本政府より

日本政府より

日本政府より

日本政府より

2-1336

8111

661414

ノ別原ヨウ(手書印十六年)

廿二年、不滿政府、批准書交換

地、草盛飯上定。批准期限ヲ三ヶ月

トス。ナリテ、批准シカニ亦不滿政府、

若し批准シキ、批准シカニ亦不滿政府、

トキ、多事の爲、未だ到達スル

傳シ、不滿政府批准シカニ草盛飯上

医者、スコトナリ。二十二日、

外務省

費スアトナムノ以テ、東洋に於テ批准シ
ケテ、批准セラマツ。批准シキ不滿政府、之ニ

回音シ、批准期限ヲ三ヶ月トス。ナリ

詩トシ、不滿政府、批准シキ。

第十
參約、御下及批准書
支旗

右、ゆき新事局、參文附、元國連さん諸
の點、付し、支那政府、同ニ委託シテ、
乃、以テ布主政府、内閣大臣、付セ全
権侍奉仕様御下附、多漢ノ如ク、二月
二十日御承可アリ直ニ電報、此ノ其
加リ向大便、通知レ候御奉仕様、直

外務省

三郵至セラレテ、二月、明治甲四年
二月二十日草盛飯、於テ純金粒、委員
先内閣大臣下井平全權委員、申請
御ハツクス、氏ト右ニ本多源、及、諸官之告
、御下附、同付、宜前取扱、因
歌ヲ好、是地、諸司歌、ノ東方公文書
、未擇、了テ、未至元老院、三月、官
開會、未ナシ、此テ支那政府、直ニ申

条の内定吉元老院、四は向
 院外文安貢金全金ノ隊ノ以テ
 ワ可はレ直ニ全院、請付シテ
 同院和テヘール民一派、加奈陀互
 五事情有、及付ト市有、本多約
 五条井、付定吉中、
 、文字アルリ以テ毛筋有、限リニテ今四
 加奈陀ト飾結シルカナキ直重協約
 外務省
 、日本モト飾結セラトノ處ニ本多
 、同官、及付シ同様、加州方面アリハ
 ケ本多約ニ付スル抗議、大統領上下
 ち院書請貢金、手許、提出シ形勢
 而向カラサリレツクジタル脚、極力、本
 条約、同官、即ナ承、四月二十四日
 至テ元老院、本多約ニ立本多及付定
 吉中、在スル Special arrangement、文字ノ

treaty の文字を修正し且つ本件約款が
 お七年二月二十日第一回、外五人合衆
 不來往事務官桂川源次郎、法律、何
 多取ワモ度意申シ又ハニノ影響御有スルモト
 御了シレサルヘシト、又ハニノ批准古中ニ
 御對不ヤキナリノ条件トシテ本件約及
 諸事々、批准ニ同意セリ西宮卿ニ
 月二十吉は吉院ノ以テ六ノ御内閣
 僕、通鑑シ帝政政府、同意ヲあき
 上國ナガルセラセラ、諸事ハ一切、外
 事省ノ右署主ハ其位乞ふ者人ノ専用
 スルモニシテ何レニ、亦モニ差別ヲ設クル
 予ナニ、御行日本正役府、於シ右乃所
 ク御宿吉中ニ御對不シ付ニ田代
 ナカニヤキナリ、空第乙八旨申上御
 政府一派行正ニ付シホニ前記ノ文

外務省

661418

海カ大統領、批准書中記入セシル
下村レモニ界線ナシ前内閣大使ソレ
テ回答セシルヨリ前於ヨガニシテ有る
二年三月四日、今後ソヌソムリ以テ明治廿
四年四月八日東京ノ於テ 批准書ナキ
換ツ行ツアトヤマサハニモニ外務省
立本邦示カ方便オーブライエレ民ニ
落シクル御内閣大臣批准書中
中ノ内閣大臣
二年九月八日ヨリ軍事大統領
批准書中ナシ前 批准書中ニシテ
新セシルヨリ下ノ相付さん前記新シ
アトダヒトモ布各政府、承認シテ候
又セリ大統領 批准書中記入ラス
ナシヤカニ前記新シ 律令批准書中ニシテ
新セリ大統領 批准書中記入セシル
下ノ件ニ署識ナシ前記セシル

2-1336

8:15

3月斯、内閣の様方於テ前回ナキアリ
 既ニ御在席、漏えん候。於テ更ニ承
 る政府、希望せんが如クお召シリ。我御
 指揮當中。御文スル事ト。御代承認
 ラ下能シナリ。内閣大臣ラシテ手書函
 序。申上セヨ。同时ニ帝ノ政府。ナハ
 万七千一年、承於領事殊語多有
 指揮。實未接觸。然、列々甚早指揮

外務省

曹本接觸當中。至是元老院。一月
 之内、内閣ノ事例上之ニ候。余好、指揮。依
 賛シ大統領。其一葉、又承ニ置。ヲ指揮シ
 え。テ、ワニ宣言シ叶。日本政府。
 亦是也。同意。上之。前、御承認。同
 指揮。實未接觸。又承ニ修正。シテ
 乌丸、内閣未接觸。併がスル事ニ

The undersigned met together for the purpose of effecting the exchange of the ratifications of the Treaty of Commerce and Navigation and Protocol between the United States of America and Japan concluded and signed at Washington, on the 21st day of February, in the nineteen hundred and eleventh year of the Christian era, corresponding to the 21st day of the 2nd month of the 44th year of Meiji.

Before proceeding to such exchange, the undersigned, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the United States of America, declared:

I. That the advice and consent of the Senate of the United States to the ratification of the Treaty aforesaid was given with the understanding that such Treaty shall not be deemed to repeal or affect any of the provisions of the Act of the congress of the United States entitled an Act to regulate the immigration of aliens into the United States,

approved February 20th, 1907.

2. That the said Treaty was ratified and confirmed by the President of the United States subject to the said understanding of the Senate of the United States.

The undersigned, His Imperial Majesty's Minister of State for Foreign Affairs, duly authorised by the Japanese Government took note of the above declaration and expressed the concurrence of his Government with the understanding above mentioned. Thereupon the exchange of ratifications of the said Treaty and Protocol took place in the usual form.

In witness whereof, they have signed the present Protocol of Exchange and have affixed their seal thereto.

Done at Tokyo this 4th day of April, in the nineteen hundred and eleventh year of the Christian era, corresponding to the 4th day of the 4th month of the 44th year of Meiji.

(Signed) Thomas J. O'Brien (U.S.) (Signed) Jutaro Konura (U.S.)

外務省立文書館

茲於四月四午時三時大外客
ノ内オーブテイニシ大使ト、官ニ車
内及海宇生井、且修西時スル船泊
古ヲモ換レシ前記事換返告ニ納
至リテ、事上向日直、右指揮外ソ
ノナ車多の及海宇生井、其修レツク

外

務

省

公報シ、同時、紙、此ニテ失之ル、空言、
予及諸官事、事、所、而、テ、失、之、無、成
往復、公文、ク、及、表、セ、リ

是ノ先キ、斯宗約及諸正書、元老
院外文書、官舍、於、今、ノ、除、ノ、
可決セリ、内田大使、大統領
ガ本多、ノ、元老院、開、官、付、大、
心、神、ク、常、立、行、事、事、ガ、元老院、

内閣大臣
天皇陛下の 大統領
特使祝電、及し賀電 下候
事務上此に當り御懇意アリと申
候、御批准仕上、枢密院、御諮詢
ノ事務上此の様ニ御了承する御
意旨、御へ、御頼み申候、此ニ御
照應、内閣、及し、此ニ御祝意の表
セシル、丁度、四月、廿九、イエニエレ

外
務
省

内閣大臣、天皇御祝電、及し賀電
ノ事務上此の様ニ御了承する御
意旨、御へ、御頼み申候、此ニ御

To the President

of the United States.

Attaching the highest importance to

the perpetuation of the relations of friendship and
good understanding which have so long united our
two Countries, and believing that the Treaty just
ratified will serve to strengthen and render still more
ensuring those relations and knowing the important

661423

part you took in bringing about the fortunate result,
I desire to express to you the sense of my high ap-
preciation of your successful efforts and an assurance
of my continued friendship.

テレグラフ文書 大統領

トマス・マッカーリー

Your Excellency:

I have the honor to inform Your Excellency that
I have this moment received a telegram from my Government
instructing me to convey to His Majesty the Emperor the

following reply of the President to His Majesty's gracious
message of yesterday:

"I beg to assure Your Majesty of my deep appre-
ciation of the friendly message sent through the American
Ambassador on the occasion of the consummation of the new
Treaty between our respective Countries. I am happy to
join with Your Majesty in the confident expectation that
the Treaty will result in binding still closer the ties
that have so long united the peoples of the United States
and of Japan in amity and peace. I also beg to assure
Your Majesty of my hearty reciprocation of the sentiments
of cordial friendship."

I take this occasion to renew to Your Excellency
the assurances of my high consideration.

(Signed) T. J. O'Brien.

His Excellency Count Komura,
His Imperial Japanese Majesty's
Minister for Foreign Affairs.

2-1336

8121

661445

2

Article XVIII

The present Treaty shall enter into operation on the and shall remain in force for twelve years or until the expiration of six months from the date on which either of the High Contracting Parties shall have given notice to the other of its intention to terminate the Treaty.

*Lawes do not permit to conclude a new one
to take effect from January first year.*

ARTICLE XX.

The present Treaty shall, from the date on which it comes into force, be substituted in place of the Treaty of Commerce and Navigation dated the 22nd day of the 11th month of the 27th year of Meiji (1894), and the Convention relative to the reimbursement of shipwreck expenses dated the 17th day of the 5th month of the 13th year of Meiji (1880); and from the same date the last named Treaty and Convention shall cease to be binding.

ARTICLE XXI.

The present Treaty shall enter into operation on the and remain in force until

In case neither of the High Contracting Parties shall have given notice to the other before the expiration of the said period, of its intention to terminate the Treaty, it shall continue operative until the expiration of from the date on which either of the Contracting Parties shall have denounced it.

(c)

ARTICLE XXII.

The present Treaty shall be ratified and the ratifications thereof shall be exchanged at as soon as possible and not later than months from the present date.

In witness whereof &c. &c. &c.

Done at &c. &c. &c.

2-1336

5122

66144

officer of the country to which the ship of
the deserter may belong, accompanied by
an assurance that all expenses connected
therewith will be repaid.

It is understood that this stipulation shall
not apply to the subjects or citizens of the
country where the desecration takes place.

ARTICLE XVII.

In cases of shipwreck, damages at sea, or
forced putting in, each High Contracting
Party shall, as far as the obligations of
neutrality permit, afford to the vessels of the
other, whether belonging to the State or to
individuals, the same assistance and protection
and the same immunities as are in like cases
granted to the national vessels. Articles
saved from such wrecked or damaged vessels
shall be exempt from customs duties unless
cleared for consumption; in which case they
shall pay the prescribed duties.

ARTICLE XVIII.

(◎ Article XV
Article XVIII.)
The present Treaty shall from the date
on which it enters into operation supersede
the Treaty dated the 22nd day of November
1894, and from the same date the last-named
Treaty, shall cease to be binding.

Except as otherwise expressly provided in
this Treaty, the High Contracting Parties
agree that, in all that concerns commerce and
navigation, any privilege, favour
or immunity which either Contracting Party
has actually granted, or may hereafter grant,
to the subjects or citizens of any other State
shall be extended to the subjects or citizens
of the other Contracting Party gratuitously,
unless except by mutual agreement
State shall have been gratuitous, and on the
same or equivalent conditions, if the concession
shall have been conditional.

ARTICLE XIX.

The stipulations of the present Treaty shall

661443

The competent Consular officers of each of the High Contracting Parties in the territories of the other shall have exclusive charge of the internal order of the merchant vessels of their nation and shall alone take cognizance of differences, which may arise, either at sea or in the territorial waters of the other Party, between the captains, officers and crews, and particularly in reference to the adjustment of wages and execution of contracts. But in the event of any disturbance or disorder on board a merchant vessel of either Contracting Party in the territorial waters of the other, of a nature to cause or to be likely to cause, in the opinion of the competent authorities of the place where the disturbance or disorder occurs, a breach of the peace or trouble in such waters or on shore, the territorial authorities shall, in such case, have jurisdiction.

ARTICLE XV.

The competent Consular officers of each of the High Contracting Parties in the territories of the other shall have exclusive charge of the internal order of the merchant vessels of their nation and shall alone take cognizance of differences, which may arise, either at sea or in the territorial waters of the other Party, between the captains, officers and crews, and particularly in reference to the adjustment of wages and execution of contracts. But in the event of any disturbance or disorder on board a merchant vessel of either Contracting Party in the territorial waters of the other, of a nature to cause or to be likely to cause, in the opinion of the competent authorities of the place where the disturbance or disorder occurs, a breach of the peace or trouble in such waters or on shore, the territorial authorities shall, in such case, have jurisdiction.

ARTICLE XVI.

If any seaman should desert from any merchant ship belonging to either of the High Contracting Parties in the territorial waters of the other, the local authorities shall, within the limits of law, be bound to give every assistance in their power for the apprehension and handing over of such deserter, on application to that effect being made to them by the competent Consular

661442

other similar or corresponding duties or charges of whatever denomination, levied in the name or for the profit of Government, public functionaries, private individuals, corporations or establishments of any kind, shall be imposed in the ~~territorial waters of~~ ^{territories of} either country upon the vessels of the other which shall not equally, under the same conditions, be imposed on national vessels in general, or ^{or} vessels of the most favoured nation. Such equality of treatment shall apply reciprocally to the respective vessels from whatever place they may arrive and whatever may be their place of destination.

(6)

ARTICLE XII.

Vessels charged with performance of regular scheduled postal service of one of the High Contracting Parties, whether belonging to the State or subsidized by it for the purpose, shall enjoy in the ~~territorial waters of the~~ ^{territories of} other, the same facilities, privileges and immunities as are granted to like vessels of the most favoured nation.

ARTICLE XIII.

The coasting trade of the High Contracting Parties is excepted from the provisions of the present Treaty and shall be regulated according to the laws of Japan and the United States respectively. *It is however understood that he citizens of the United States in the territories of His Majesty the Emperor of Japan and Japanese subjects in the territories of the United States shall enjoy in this respect the favours which are or may be granted under such laws to the citizens or subjects of the most favoured nation.*

A vessel of one of the Contracting Parties laden in a foreign country with cargo destined for two or more ports of entry in the territories of the other, may discharge a portion of her cargo at one of the said ports, and, continuing her voyage to the other port or ports of destination, there discharge the remainder of her cargo, subject always to the laws, tariffs and

2-1336

8125

661441

effect without distinction, whether such articles come directly from the place of origin or from any other foreign place.

In the same manner, there shall be perfect equality of treatment in regard to exportation, so that the same export duties shall be paid, and the same bounties and drawbacks allowed in the territories of each of the Contracting Parties on the exportation of any article which is or may be legally exported therefrom, whether such exportation shall take place in Japanese or in United States vessels, and whatever may be the place of destination, whether a port of the other Party or of any third Power.

(c)

ARTICLE X

In all that regards the stationing, loading and unloading of vessels in the territorial waters of the High Contracting Parties, no privileges or facilities shall be granted by either Party to national vessels which are not equally, in like cases, granted to the vessels of the other country; the intention of the Contracting Parties being that in these respects the respective vessels shall be treated on the footing of perfect equality.

ARTICLE XI

Merchant vessels navigating under the United States and Japanese flags and carrying the papers required by their national laws to prove their nationality, shall in Japan and in the United States be deemed to be United States and Japanese vessels respectively.

ARTICLE XII

No duties of tonnage, ~~transit and emigration~~, harbour, pilotage, lighthouse, quarantine, or

2-1336

8126

661440

Articles imported as samples for the purposes above mentioned, shall in each country be temporarily admitted free of duty on compliance with the customs regulations and formalities established to assure their re-exportation or the payment of the prescribed customs duties if not re-exported within the period allowed by law. But the foregoing privilege shall not extend to articles which, owing to their quantity or value, cannot be considered as samples, or which, owing to their nature, could not be identified upon re-exportation. The determination of the question of the qualification of samples for duty free admission, rests in all cases, exclusively with the competent authorities of the place where the importation is effected.

Article VIII

Article VIII

Limited liability and other companies and associations, commercial, industrial and financial, already or hereafter to be organized in accordance with the laws of either High Contracting Party and domiciled in the territories of such Party, are authorized, in the territories of the other, to exercise their rights and appear in the Courts either as plaintiffs or defendants, subject to the laws of such other Party.

The foregoing stipulation.

Article IX. Article VIII
The United States.

Agreement has no bearing upon the question whether a company or association organized in one of the two countries will or will not be permitted to transact its business or industry in the other, the jurisdiction remaining always subject to the laws and regulations enacted or established in the respective countries including on the part of the United States the laws and regulations established by and under the authority of the several States, territories or possessions of

(①) All articles which are or may be legally imported into the ports of either High Contracting Party, *from foreign countries*, in national vessels, may likewise be imported into those ports in vessels of the other Contracting Party, without being liable to any other or higher duties or charges of whatever denomination than if such articles were imported in national vessels. Such reciprocal equality of treatment shall take

2-1336

5127

ARTICLE VII.

The import duties on articles, the produce or manufacture of the territories of one of the High Contracting Parties, upon importation into the territories of the other, shall henceforth be regulated either by special arrangements between the two countries or by the internal legislation of each.

(Article VI of the existing Treaty of Commerce and Navigation.)

The subjects or citizens of each of the High Contracting Parties shall enjoy in the territories of the other exemption from all transit duties, and a respect equally of treatment with native subjects or citizens in all that relates to warehousing, tonnage, facilities and documents which shall not equally extend to the like maintained or imposed by either country on the importation or exportation of any article from or to the territories of the other, which shall not equally extend to the like article imported from or exported to any other country. The last provision is not, however, applicable to prohibitions or restrictions maintained or imposed as sanitary measures or for purposes of protecting animals and useful plants.

ARTICLE VII.

Merchants and manufacturers, subjects or citizens of one of the High Contracting Parties, as well as merchants and manufacturers domiciled and exercising their commerce and industries in the territories of such Party, may, in the territories of the other, either personally or by means of commercial travellers make purchases, or collect orders, with or without samples, and such merchants, manufacturers and their commercial travellers while so making purchases and collecting orders, shall, in the matter of taxation and facilities, enjoy the most favoured nation treatment.

ARTICLE IV.

In case of the death of a subject or citizen of one of the High Contracting Parties in the territories of the other, without leaving at the place of his decease any person entitled by the laws of the deceased's country to take charge of and administer the estate, the competent Consular officer of the State to which the deceased belonged, shall have the right, either personally or by delegate, to represent and act for such absent person during his absence, and to take all measures and to perform all acts necessary to the due administration and winding up of the estate.

But nothing contained in this Article shall be held to deprive the Courts of the country where the property is situated of jurisdiction in cases in which they would otherwise be competent.

The foregoing provisions shall also apply in case of a subject or citizen of one of the Contracting Parties, dying outside of the territories of the other, but possessing property therein without leaving any person there, entitled to take charge of and administer the estate.

⑤

ARTICLE V

There shall be between the territories of the two High Contracting Parties reciprocal freedom of commerce and navigation. The subjects or citizens of each of the Contracting Parties, equally with the subjects or citizens of the most favoured nation, shall have liberty freely to come with their ships and cargoes to all places, ports and rivers in the territories of the other, which are or may be opened to foreign commerce, subject always to the laws of the country to which they thus come.

~~those which are or may be paid by nationals or the subjects or citizens of the most favoured nation.~~

(C)

ARTICLE II.

The dwellings, warehouses, manufactures and shops of the subjects or citizens of each of the High Contracting Parties in the territories of the other and all premises ~~appertaining to commerce thereto used for, ^{and} ~~and~~ ^{or} commerce~~ used for, ^{and} ~~and~~ ^{or} commerce purposes, shall be respected. It shall not be allowable to proceed to make a domiciliary visit to, or a search of, any such buildings and premises or to examine or inspect books, papers or accounts, except under the conditions and with the forms prescribed by the laws for nationals.

ARTICLE III.

Each of the High Contracting Parties may ~~nominate~~ ^{appoint} Consuls General, Vice-Consuls ~~and~~ ^{and} Consular Agents in all the ports, cities and places of the other, except in those where it may not be convenient to recognize such officers. This exception, however, shall not be made in regard to one of the Contracting Parties without being made likewise in regard to all other Powers. ~~Such Consuls General, Deputy-Consuls, Consular Agents, and Consular Agents, having received exequatur or other sufficient authorizations from the Government of the country to which they are appointed, shall, on condition of reciprocity, have the right to exercise the functions and to enjoy the privileges, exemptions and immunities which are or may be granted to the Consular officers of the same rank of the most favoured nation. The Government issuing exequaturs or other authorizations has the right in its discretion to cancel the same on explaining the reasons for which it thought proper to do so.~~

661436

1. Shall, in all that relates to travel and residence; to the pursuit of their studies and investigations; to the exercise of their callings and professions, and to the prosecution of their industrial and manufacturing undertakings, be placed, in all respects, on the same footing as the subjects or citizens of other countries than those that are or may be the most favoured nation;
2. They shall have the right, equally with nationals, to carry on their commerce and trade in all kinds of merchandise of lawful commerce;
3. They shall be permitted to own or hire ~~protection~~ and ~~security~~ for their persons and occupy the houses, manufactories, warehouses, shops, and premises which ~~the same~~ rights and privileges as are or shall may be necessary for them and to lease ~~to~~ ~~be granted to~~ the native citizens or subjects, or land for residential, commercial, judicial, ~~their submitting themselves to the conditions~~ trial, manufacturing and other lawful purposes;
4. They shall enjoy constant and complete protection and security for their persons and property; shall have free and easy ~~military~~ service, either on land or sea, in access to the Courts of Justice in the regular forces, or in the national guard, pursuit and defence of their rights; and shall also be allowed to prosecute their claims against the State and its organs before the tribunals or other authorities having jurisdiction in such matters;
5. They shall be exempted from all compulsory military services, whether in the army, navy, national guard or militia; from all contributions imposed in lieu of personal service; and from all forced loans and military requisitions or contributions unless imposed on them equally with nationals as owners, lessors or occupiers of immovable property;
6. And they shall not be compelled to pay taxes, fees, charges or contributions of any kind whatever, other or higher

for trade, upon the same terms as native citizens or subjects, submitting themselves to the laws and the police, customs and other regulations here established.

They shall not be compelled under any pretence whatever, to pay any charges or taxes

paid by native citizens or subjects.

The citizens or subjects of each of the Contracting Parties shall have receive in the state and territories of the other, the most constant protection and security for their persons and property, and shall enjoy in this respect the same rights and privileges as are or shall be granted to the native citizens or subjects, or in the militia, and from all forced loans, or military requisitions or contributions.

They shall however be exempted in the

~~territories of the other from compulsory~~
~~military service either on land or sea, in~~
~~the regular forces, or in the national guard,~~
~~or in the militia, and from all forced~~
~~loans, or military requisitions or contributions~~

2-1336

813:

661435

◎ 石庭定

Draft Treaty of Commerce and Navigation
between Japan and the United
States of America.

◎

His Majesty the Emperor of Japan and
the President of the United States of America,
being desirous to strengthen the relations
of unity and good understanding which
happily exist between the two nations, and
believing that the fixation in a manner
clear and positive of the rules which are
hereafter to govern the commercial inter-
course between their respective countries, will
contribute to the realization of this most
desirable result, have resolved to conclude a
Treaty of Commerce and Navigation for that
purpose, and have named their Plenipotentia-
ries, that is to say:

His Majesty the Emperor of Japan,

.....;

And the President of the United States of

America,

.....;

.....;

.....;

.....;

Who, after having communicated to each
other their respective Full Powers, found to
be in good and due form, have agreed upon
the following articles:

APPENDIX I

The citizens or subjects of each of the High Contracting
Parties shall have liberty to travel and reside in
the ports and territories of the other, to carry on
trade, wholesale and retail, to hire and occupy houses, sojourn in all parts of the territories of the
other and conforming themselves to the laws
hereinafter mentioned and commercial purposes,
and generally to do anything incident to or necessary

2-1336

8:32

661434

DRAFT

TREATY OF COMMERCE AND NAVIGATION

BETWEEN

JAPAN AND THE UNITED STATES OF AMERICA.

2-1336

8133

661433

Confidential.

February 21, 1911.

Sir:

In reply to your note of this date I have the honor to state that my Government entirely concur in the understanding therein set forth with reference to the Panama Canal Zone.

Accept, Sir, the renewed assurances of my highest consideration.

(Signed) Y. Uchida.

Honorable Philander Chase Knox,
Secretary of State.

2-1336

8134

661432

DEPARTMENT OF STATE
Washington.

Confidential.

February 21, 1911.

Excellency:

I have the honor, in order to avoid any possible misunderstanding in future, to declare that it is understood that nothing in the provisions of the Treaty of Commerce and Navigation, signed this day, shall be taken to apply to the Panama Canal Zone.

Accept, Excellency, the renewed assurance of my highest consideration.

(Signed) P. C. Knox.

His Excellency

Baron Yasuya Uchida,

Japanese Ambassador.

2-1336

8135

DEPARTMENT OF STATE
Washington.

February 21, 1911.

Excellency:

I have the honor to acknowledge the receipt
of Your Excellency's note of this date on the subject
of land ownership in Japan and Korea.

Accept, Excellency, the renewed assurances
of my highest consideration.

(Signed) P. C. Knox.

His Excellency

Baron Yasuya Uchida,
Japanese Ambassador.

2-1336

8136

661431

IMPERIAL JAPANESE EMBASSY
Washington

February 21, 1911.

Sir:

In reply to your inquiry about land ownership in Japan and Korea I have the honor under instructions of the Imperial Government to state that land ownership in Japan will be regulated by the law of the country, and foreigners and foreign corporations who comply with the terms of the provisions of the law will acquire the right of ownership of land. In return for the rights of land ownership which are granted Japanese by laws of the various states of the United States the Imperial Government will by liberal interpretation of the law be prepared to grant land ownership to American citizens from all the states, reserving for the future, however, the right of maintaining the condition of reciprocity with respect to the separate states.

The rights in real property acquired by Americans in Korea will be respected. As to the recognition of the title deeds registered in the American Consulate General in

Seoul,

Honorable Philander Chase Knox,
Secretary of State.

Seoul, the Imperial Government are now considering the question with the American Embassy at Tokio and believe that it will be solved satisfactorily to both parties. In case of the extension of the law of land ownership to Korea it will be applied to all foreigners in general including American citizens upon their fulfilment of the provisions of the law on the subject.

Accept, Sir, the renewed assurances of my highest consideration.

(Signed) Y. Uchida.

2-1336

8137

661430

DEPARTMENT OF STATE
Washington.

February 21, 1911.

Excellency:

In acknowledging the receipt of your note of this date on the subject of the property which is now held under leases in perpetuity by American citizens in the former foreign settlements in Japan, I have the honor to make all necessary reservations as to the nature and extent of the rights relating to such property.

Accept, Excellency, the renewed assurance of my highest consideration.

(Signed) P. C. Knox.

His Excellency

Baron Yasuya Uchida,
Japanese Ambassador.

2-1336

8138

D
IMPERIAL JAPANESE EMBASSY
Washington

February 21, 1911.

Sir:

In proceeding this day to the signature of the Treaty of Commerce and Navigation between Japan and the United States I have the honor under instructions of the Imperial Government to state that, pending the conclusion of an arrangement between the two Governments for the final disposition of existing leases in perpetuity under which property is now held by American citizens in the former foreign Settlements in Japan, such leases shall be maintained and respected and all rights, privileges and immunities incident and relating to such property and existing at the time the Treaty signed this day enters into operation shall not be affected thereby, and in no case shall American citizens be placed in this respect in a less favorable position than subjects or citizens of any other country.

Accept, Sir, the renewed assurances of my highest consideration.

(Signed) Y. Uchida.

Honorable Philander Chase Knox,
Secretary of State.

2-1336

8139

IMPERIAL JAPANESE EMBASSY
Washington

DECLARATION.

In proceeding this day to the signature of the Treaty of Commerce and Navigation between Japan and the United States the undersigned, Japanese Ambassador in Washington, duly authorized by his Government has the honor to declare that the Imperial Japanese Government are fully prepared to maintain with equal effectiveness the limitation and control which they have for the past three years exercised in regulation of the emigration of laborers to the United States.

(Signed) Y. Uchida.

February 21, 1911.

PROTOCOL.

The Government of Japan and the Government of the United States of America have, through their respective Plenipotentiaries, agreed upon the following stipulation in regard to Article V of the Treaty of Commerce and Navigation between Japan and the United States signed this day to replace on the 17th of July, 1911, the Treaty of the 22nd of November, 1894:

Pending the conclusion of a special arrangement relating to tariff, the provisions relating to tariff in the Treaty of the 22nd of November, 1894, shall be maintained.

In witness whereof, the respective Plenipotentiaries have signed this Protocol in duplicate and have hereunto affixed their seals.

Done at Washington the 21st day of the 2nd month of the 44th year of Meiji, corresponding to the 21st day of February, in the nineteen hundred and eleventh year of the Christian era.

(Signed) Y. Uchida (L.S.)

(Signed) Philander C. Knox (L.S.)

2-1336

8148

661428

corporations in return for corresponding rights which are granted foreigners by laws of the various states.

Existing rights with respect to real property in Korea will be confirmed and maintained and the records of the title deeds registered in the American Consulate General in Seoul will be recognized and given full validity. Should the law of land ownership referred to in the preceding paragraph eventually be extended to Korea, such extension of privilege shall apply to citizens of the United States equally with those of any other country.

5. PROTECTION OF INDUSTRIAL AND LITERARY PROPERTY.

The reciprocal protection of patents, designs, trademarks, tradenames and copyrights shall continue to be protected under the general provisions of the international agreements for the protection of industrial and literary property to which both countries are signatories, as well as under any special agreement which the two countries may have or may make to that end.

Department of State,

Washington, January 23, 1911.

The Japanese Ambassador has the honor to acknowledge the receipt of the Note of the Department of State dated January 23, 1911, and to state in reply under instructions of the Imperial Government that they are extremely gratified to learn that the United States Government, after examining the drafts of the Treaty of Commerce and Navigation and of the Special Reciprocal Customs Convention presented by the Japanese Embassy with its memorandum of October 19, 1910, are prepared to enter upon negotiations of a new treaty of Commerce and Navigation to replace on July 17, 1911, the treaty now in force, and that the Imperial Government concur in the understanding of the proposal relating to the question of immigration set forth in the above mentioned note of January 23 last.

In order to facilitate the actual negotiations of the new treaty the Japanese Ambassador is now instructed to present to the Secretary of State the annexed draft of the declaration of the Imperial Government in regard to the emigration of Japanese laborers to the United States. Baron Uchida is further instructed to state to the Secretary of State that the Imperial Government have no objection in principle to points 3 and 5 mentioned in the memorandum of the Department of State dated January 23 last, while the remaining three points could in their view be arranged satisfactorily by actual negotiations upon learning the precise nature of the proposals concerned. The Imperial Government therefore desire that the counter draft of the treaty prepared by the Department of State may be handed to the Japanese Ambassador at the earliest opportunity.

February 8, 1911.

2-1336

8141

✓ O
661427

MEMORANDUM.

1. TARIFF. Pending the conclusion of a special arrangement relating to tariff, the Japanese Government will guarantee to the United States as favorable terms in fact in the matter of tariff as may be accorded to any other country, and if that Government shall grant any special tariff concession to any other country, either by separate convention or by revision of the tariff schedule, it shall offer an equivalent concession to the United States in return for a continuance of the latter's minimum tariff rate granted to Japan.

2. DUTIES OF CONSULAR OFFICERS.

The Japanese Government will agree to enter upon the early negotiation of a Consular Convention covering fully and precisely the duties of consular officers.

3. PROPERTIES HELD UNDER PERPETUAL LEASE.

The present status of the perpetual lease-hold property in the former foreign settlements, which have now acquired an established character, will be confirmed and maintained until a mutually satisfactory settlement of the various questions involved be arranged by the parties concerned.

4. LAND OWNERSHIP.

The limited right of ownership of land by foreigners and foreign corporations provided for by a recent session of the Imperial Japanese Diet will be granted to American citizens and

2-1336

8142

661426

The Department of State having examined with interest the drafts of the Treaty of Commerce and Navigation and of the Special Reciprocal Customs Convention presented by the Japanese Embassy with its memorandum of October 19, 1910, is happy to state that, for its part, it is prepared to meet the wishes of the Imperial Japanese Government to enter now upon negotiations for a new treaty of Commerce and Navigation to be substituted on July 17, 1911, for the treaty now in force, on the following bases:

The Department of State understands, and proceeds upon the understanding, that the proposal of the Japanese Government made in the above-mentioned memorandum, is that the clause relating to immigration in the existing treaty be omitted for the reason that the limitation and control which the Imperial Japanese Government has enforced for the past two and a half years in regulation of emigration of laborers to the United States, and which the two Governments have recognized as a proper measure of adjustment under all the circumstances, are to be continued with equal effectiveness during the life of the new treaty, the two Governments when necessary co-operating to this end; the treaty to be made terminable upon six months' notice.

It is further understood that the Japanese Government will at the time of signature of the treaty make a formal declaration to the above effect, which may in the discretion of the Government of the United States be made public.

In accepting the proposal as a basis for the settlement of the question of immigration between the two countries, the Government of the United States does so with all necessary reserves and without prejudice to the inherent sovereign right of either country to limit and control immigration to its own domains or possessions.

There are certain other matters of prime importance which in the opinion of the Department of State should likewise be considered and settled in principle at the outset of the negotiations. The most important of these are noted in the accompanying memorandum.

With a view to facilitating the actual negotiation of the new treaty, the Department of State will, upon learning that the above-mentioned bases of negotiation are acceptable to the Imperial Japanese Government, be prepared to present a revised and simplified draft of the treaty, together with a form of concurrent declaration, upon which it is hoped the two Governments may be able to reach an early agreement.

Department of State,

January 23, 1911.

2-1336

6143

661425

a reservation in the sense suggested, deeming such a stipulation wholly unnecessary and undesirable and in yielding finally they were anxious that the clause might be made as unobjectionable as possible. Accordingly they proposed as an alternative, that the words "immigration of laborers", be inserted between the words "trade" and "police" in the final paragraph of Article II of the treaty project, and upon their agreeing to the suppression of the last seven words of that paragraph - "and applicable to all foreigners in general" - the reservation in its present form was adopted.

It is not essential to consider whether the reservation in question was intended to give to the Contracting States the right to prohibit absolutely trade and the immigration of laborers between the two Countries, or merely to reserve to each the faculty to regulate such trade and immigration. In any case no attempt has been made by either Party to interpose such a prohibition nor is it likely that either Power will attempt under that reservation, to establish such a prohibition. The measures which the Imperial Government have enforced for the past two and half years in regulation of the question of emigration of laborers to the United States, have, it is believed, proved entirely satisfactory and far more effective than any prohibition of immigration would have been. Those measures of restraint were undertaken voluntarily, in order to prevent any dispute or issue between the two Countries on the subject of labor immigration, and will be continued, it may be added so long as the condition of things calls for such continuation.

Accordingly, having in view the actual situation, the Imperial Government are convinced that the reservation in question is not only not necessary, but that it is an engagement which, if continued, is more liable to give rise to misunderstandings than to remove difficulties. In any case it is a stipulation which, not unnaturally, is distasteful to national sensibilities. In these circumstances the Imperial Government desire in the new treaty to suppress entirely the reservation above mentioned, and to leave, ^{the questions to which it relates}, in word as well as in fact, for friendly adjustment between the two Governments independently of any conventional stipulations on the subject. In expressing that desire they are not unmindful of the difficulties under which the United States labor in the matter of immigration and they will accordingly, if so desired, be willing to make the proposed treaty terminable at any time upon six months' notice.

The Japanese Embassy is satisfied that in the presence of such a termination clause the Contracting States would actually enjoy greater liberty of action so far as immigration is concerned, than under the existing reservation on the subject, however liberally construed. The hope is therefore, entertained that the United States may find it possible to consent to enter at this time, upon negotiations on the basis of the accompanying drafts, with a view to the conclusion of a new commercial arrangement to replace next year the existing Treaty of Commerce and Navigation.

2-1336

8144

661434

L 6

Nevertheless, by agreement they were abrogated and entirely new Treaties were substituted in their place. In that work the United States took a leading and sympathetic part. The Treaty of 1894 with the United States expressly annulled the pre-existing treaties and Conventions, and, so far as America was concerned, it was made effective by ratification by the President with the advice and consent of the Senate but without any Congressional action. In precisely the same way the Imperial Government desire to replace the existing Treaty of 1894, before its expiration by a new Treaty. They do not wish to amend the existing Treaty, but to substitute in its place a new and complete Treaty. It will be necessary if this course is adopted to insert in the new Treaty a clause replacing the existing Treaty in the same way that Article 18 was inserted in the existing Treaty and Article 11 in the Treaty of 1846 with Hanover and Article 11 in the Extradition Convention of 1882 with Belgium.

The Japanese Embassy, consistently with the intimation contained in its Memorandum of the 2nd June last, has the honor to present to the Department of State for confidential consideration, drafts of a Treaty of Commerce and Navigation and of a Special Reciprocal Customs Convention, which the Imperial Government hope the United States will be disposed to accept as the basis for a new and improved Commercial Arrangement between the two countries in substitution of the existing Engagements on the same subject.

It is unnecessary at this time to enter upon a detailed examination of the various modifications of the existing Treaty which are recommended by the present project. The suggested amendments are largely self-explanatory and may, generally speaking, very properly be reserved for consideration in connection with actual negotiations. But there is one important point to which it seems necessary to refer prior to any general discussion of the various provisions of the drafts.

That point relates to the question of the immigration of laborers.

When the present Treaty was in course of negotiation, the United States proposed the insertion in the first paragraph of Article I after the word "Parties" a reservation to the following effect :

subject to any laws now in force or which may hereafter be enacted in reference to the immigration of laborers.

The Imperial Government were reluctant to admit into the Treaty

2-1336

8145

MEMORANDUM.

2146

2146

The Imperial Government, in their memoranda presented before, have already fully stated the reasons for which they desire to see the existing Treaty with the United States expire in July 1911, and have no new or additional ones to adduce in further support of their desire. They are anxious, as the U. S. Government may well understand, to terminate their more important commercial Treaties at the same time and simultaneously to bring new Treaties into force, pursuing in this respect the same course they did when their present Treaties replaced the old unilateral Engagements. The existing Treaties are generally terminable by notice next year and it is the desire of the Imperial Government to replace them by new and more complete instruments on the 17th July, 1911. Accordingly the Imperial Government would be glad to be informed if it will be convenient and agreeable to the United States, while construing the termination clause of the existing Treaty with Japan in the way the State Department does, to enter into negotiations with Japan in the near future with a view to the conclusion of a new Treaty of Commerce and Navigation to replace the existing Treaty from the 17th July, 1911, assuming it to be possible before that date to conclude and ratify such new Treaty. There are many precedents for such action. Japan's ancient Treaties had no ^{fixed} term of duration. They were merely open to revision.

2-1336

2146

2-1336

8147

